

北阪小学校大規模改修（機械設備）工事		工事設計図	令和 6年 3月（全 23枚）
工事場所 南魚沼市余川1220-2 地内		建物概要	
		建 物 名 称	構 造
		北阪小学校	R C造
		階 数	3階
		延べ面積（㎡）	消防令別表第一（7）
		備 考	
仕 様 書		I. 共通仕様	
		1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されていない事項は、次による。	
		新築及び増築に係る機械設備工事においては、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」（以下「標準」という。）及び「国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修 公共建築設備工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」（以下「標準図」という。）による。	
		改修に係る機械設備工事においては、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」（以下「改修標準」という。）及び標準図による。ただし、改修標準に記載されていない事項は標準による。	
		2. 標準及び改修標準に用いられている用語を、次のとおり読み替える。	
		（1）「契約書」を「南魚沼市建設工事請負基準約款（平成16年南魚沼市告示第6号）」（以下「約款」という。）に読み替える。	
		（2）「監督職員」を「監督員」に読み替える。	
		3～4及び別表は省略。（新潟県土木部建築工事仕様書作成要領別記3『機械設備工事共通仕様』のとおり。）	
		II. 特記仕様	
		凡 例	
		（1）章と項目は番号に○のついたものを適用する。特記事項は・に○のついたものを適用する。	
		（2）特記事項で、○印のない場合は、※ 印を適用する。○ 印と ※ 印のある場合は○ 印のみ適用する。	
		○ 印と※ 印のある場合は両方適用する。	
		（3）根拠項目の「a-b.c.d」は標準並びに改修標準の第 a編 b章 c節 d項を表す。	
章	項	目	特 記 事 項
① 一般事項	① 工事実績情報	請負工事費 500万円以上の場合登録する。	1-1-14 1-1-14
	2. 概成工期	※ 無 ・ 有（工期 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 となる。	1-1-21 1-1-21
	3. 内部の工事期間等	着手 令和 年 月 日 工事着手前に入行。（「着手日、作業箇所施設及び監督員と協議のうえ決定する。」）	1-1-21
	④ 工事の記録等	※ 工場製作のための現場計法調査	1-1-24
	⑤ 養生材の処理等	部分使用に係る条件に変更がある場合は、部分使用承諾書により施設内部の使用を開始する。契約書に基づく履行報告に当たり、報告に用いる書式等は「工事進行マニュアル（新潟県土木部都市局監修）」による。	1-1-39 1-1-40 1-1-40 1-1-40
	6. 機材の検査に伴う試験	下記の機材は、標準あるいは改修標準 第1編 1.4.6(1) (f) を適用する。	1-1-46 1-1-46 1-1-46
	7. 技能士	○ 配管施工（建築配管作業） ○ 熱絶縁施工（保温、保冷、防湿） ○ 冷凍・空調機と機器施工（機器据付及び整備） ○ 建築板金施工（外装製作及び取付）	1-1-52 1-1-52 1-1-52 1-1-52
	8. 見本施工	※ 実施しない	1-1-54 1-1-54
	⑨ 完成図等	下記のものを作成し提出する。なお、作成方法及び部数等は監督員の指示による。	1-1-71 1-1-71
	⑩ 施工図等の取扱い	製本（完成図、施工図）、CADデータ、保全に関する資料	1-1-82 1-1-82
	⑪ 工事完成写真	工事完了後整理のうえ監督員に提出する。提出部数 3 部	2-2-15 2-2-15
	⑫ 工事施工状況写真	工事完成写真は機械室機器、主要各室の冷暖房衛生機器及び屋外施設等とし、改修工事については、主要な部分の改修前と改修後が、比較できるものとする。このほか特に監督員が必要と認め指示した箇所とする。	2-2-15 2-2-15
	⑬ 他工事との取合い	工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 営繕工事写真撮影要領（平成28年版）」による工事写真撮影ガイドブック「機械設備工事編（平成30年版）」を参考に、撮影計画書を作成して監督員に提出する。ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略できる。	2-2-15 2-2-15
② 共通工事（配管工事等）	1. 溶接部の非破壊検査	※ 適用しない ・ 適用する（・ R T ・ P T ・ M T） （ ・ 適用 低圧蒸気管 ・ 冷却水管 ・ 冷温水管 ・ 高圧蒸気管 ・ 高温水管）	2-2-15 2-2-15
	2. 吊り及び支持	機械室内等配管で振動の伝播を防ぐ必要がある場合の吊金物は下記による。	2-2-15 2-2-15
	3. 管の埋設	床下地中埋設配管は、床配防から吊金物で支持する。（県共通図参照）	2-2-71 2-2-71
	④ 地中配管の表示	埋設表示テープ（※ 要（○ 不要） ※ 掘削土の良質土（ただし、管の周囲は山砂の類とする。） ・ すべて山砂の類で行う	2-2-71 2-2-71
	⑤ 盛土	設備機器の固定は下記に示す事項を除き、全て「建築設備耐震設計・施工指針 独立行政法人建築研究所監修 2014年版」による。また、100kg未満の機器については製造者の指定する方法で確実に支持・固定する。	2-2-71 2-2-71
	⑥ 耐震措置	重要機器 重要水槽	2-2-71 2-2-71
	7. 制御及び操作盤	重要機器・重要水槽については、下記に適合する設計用水平震度から算出したアンカーボルト等を選定して固定する。	2-2-71 2-2-71
	8. 弁・ター用制御及び操作盤	設計用水平震度	2-2-71 2-2-71
	9. 建築導入部の点検柵	設置場所	2-2-71 2-2-71
		設置場所	2-2-71 2-2-71
		設置場所	2-2-71 2-2-71
		設置場所	2-2-71 2-2-71
T I T L E		SCALE	DATE
北阪小学校大規模改修（機械設備）工事		FREE（A1版）	2024/03/19
		FREE（A3版）	
機械設備工事仕様書（1）		有限会社 平澤設計	TEL 025-772-3600 FAX 025-772-7907
		新潟県知事登録（ホ）3947 号 1 級建築士 201866号 平澤 光夫	NO
			M-01

規 格			用 途 ・ 種 別 ・ 施 工 部 位										備 考（接合工法等）		
名 称	番 号	備 考	給水管 一般	排水 管	給湯管 内 外	通気 管	消火 水 系	ガス 管	油 管	地中埋設 管	地中埋設 管				
【給水及び給湯管】															
水道用硬質塩化ビニル管	JNWA K 116	SGP-VA	○									□ねじ	□フランジ	□ハダシ管	
〃	〃	SGP-VB	●									■ねじ	□フランジ		
〃	〃	SGP-VD	○									□ねじ	□フランジ		
水道用耐熱性硬質塩化ビニル管	JNWA K 140	SGP-HVA		○								□ねじ	□フランジ		
水道用ポリエチレン粉体管	JNWA K 132	SGP-PB	○									□ねじ	□フランジ		
〃	〃	SGP-PD	○									□ねじ	□フランジ		
一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448		○	○	●							■圧縮・プレス	□拡張式	□ハダシ管	
鋼及び鋼合金継目無管	JIS H 3300	硬質(M)	○	○								□熱溶着	□電気融着	□ハダシ	
外面被覆銅管	JIS H3330		○	○											
保温付被覆銅管	JODA 0008		○	○								JIS H 3300の外面に発泡断熱材（厚さ14mm以上）で被覆したもの			
水道用硬質ポリエチレン管	JIS K 6742	VP又はH1VP	○	●								■接着(TS)	□ゴム輪(RR)		
水道用ポリエチレン二層管	JIS K 6762			○								□軟質管・ハダシ	□硬質管・ハダシ		
水道配水用ポリエチレン管	JNWA K 144			○								□電気融着	□ハダシ		
ポリブテン管	JIS K 6778		○	○											
ナイロノテフロン鋼管	WSP067	SGP-FNP SGP-RNP										□フランジ	□ハダシ管		
【排水及び通気管】															
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管			○							□ねじ	□ハダシ管	□溶接	
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管				○						□ねじ	□ハダシ管	□溶接	
排水用硬質塩化ビニル管	WSP 042			○	○							□ねじ	□MD		
排水用ポリプロピレン樹脂管	WSP 032				○	○						□ねじ	□MD		
排水用塩化ビニル管					○	○						□ねじ	□MD		
硬質ポリエチレン管	JIS K 6741	VP		●	○	●						■接着(DV)	□ゴム輪(RR)		
〃	〃	ポリVP		○	○							□接着(DV)	□ゴム輪(RR)		
〃	〃	VU										□接着(VU)	□ゴム輪(RR)		
排水用ポリプロピレン硬質ポリエチレン管	AS - 58	REP-VU			○							□接着(DV)	□ゴム輪(RR)		
ポリプロピレン硬質ポリエチレン発泡三層管	JIS K 9798	RF-VP			○							□接着(VU)	□ゴム輪(RR)		
ポリプロピレン硬質ポリエチレン三層管	JIS K 9797	RS-VU			○							□接着(VU)	□ゴム輪(RR)		
耐熱二層管				●	○							■接着(DV)	□ゴム輪(RR)		
コンクリート管	JIS A 5382	圧管1種のB形			○							□サハシ接合(B形)			
【消火管】															
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452						○					□ねじ	□ハダシ管	□溶接	
圧力配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3454	STPG 370白管 Sch40					○					□ねじ	□フランジ	□ハダシ管	
消火用硬質塩化ビニル外面被覆銅管	WSP 041	SGP-VS						○				□ねじ			
一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448							○				□圧縮・プレス	□拡張式	□ハダシ管	
ナイロノテフロン鋼管	WSP067	SGP-FNP SGP-RNP						○				□フランジ	□ハダシ管		
【ガス管及び油管】															
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管							○			□ねじ			
ポリエチレン被覆銅管	JIS G 3469	PLS								○		□ねじ		□溶接	
〃	JIS G 3469	PLP									○	□溶接			
ガス用ポリエチレン管	JIS K 6774											□熱溶着	□電気融着	□ハダシ	
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	黒管										□ねじ		□溶接	
ポリエチレン被覆銅管	JIS G 3469	PLS										□ねじ		□溶接	
〃	JIS G 3469	PLP												□溶接	
(注) ● 印及び■ 印を適用する。															
規 格			用 途 ・ 種 別 ・ 施 工 部 位										備 考（接合工法等）		
名 称	番 号	備 考	冷温水管 一般	蒸気管 一般	油管 一般	冷排水管 一般	冷排水管 一般	冷排水管 一般	冷排水管 一般	冷排水管 一般	冷排水管 一般	膨張管			
【冷温水及び冷却水管】															
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管	○	○									□ねじ	□ハダシ管	
水道用硬質塩化ビニル管	JNWA K 116	SGP-VA	○										□ねじ	□フランジ	
一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448	SUS 304	○										□圧縮・プレス	□拡張式	
【蒸気管及び油管】															
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	黒管		○	○								□ねじ	□溶接	
圧力配管用炭素鋼管	JIS G 3454	STPG 370 黒管Sch40		○	○								□ねじ	□溶接	
一般配管用ステンレス鋼管	JIS G 3448	SUS 304			○								□溶接	□フランジ	
ポリエチレン被覆銅管	JIS G 3469	PLS					○	○	○				□ねじ	□溶接	
〃	JIS G 3469	PLP						○					□溶接		
【冷媒管】															
断熱材被覆銅管	原管はJIS H 3300による								○				液管：□保温厚10mm以上（呼径9.52以下は8mm可） ガス管：□保温厚10mm以上 □保温厚20mm以上		
【空調・排水管】															
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管							○				□ねじ	□MD	
硬質ポリエチレン管	JIS K 6741	VP							○				□接着(TS)	□ゴム輪(RR)	
〃	〃	ポリVP							○				□接着(TS)	□ゴム輪(RR)	
【補給水管】															
水道用硬質塩化ビニル管	JNWA K 116	SGP-VA								○			□ねじ	□フランジ	
【空気抜き管】															
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管								○			□ねじ	□ハダシ管	
【膨張管】															
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452	白管									○		□ねじ	□ハダシ管	
(注) ● 印及び■ 印を適用する。 各項目で縦に2つ以上●がある場合、管種と使用部位は下記による。 (記載例) 給水管一般：SGP-VA（PS内）、ポリブテン管（住戸内）															

表-2>「発生材の処理等」

1. 再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考

2. 建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3. 建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名/施設名称	工事場所/施設所在地	連絡先	仮置場所の有無	備考

4. 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名	金属くず	廃プラスチック類	ガラスくず	コンクリートくず
処理施設名称	新潟ガービッチ(株)	新潟ガービッチ(株)	新潟ガービッチ(株)	新潟ガービッチ(株)
施設所在地	新潟市 宮	新潟市 宮	新潟市 宮	新潟市 宮
連絡先				
備考				

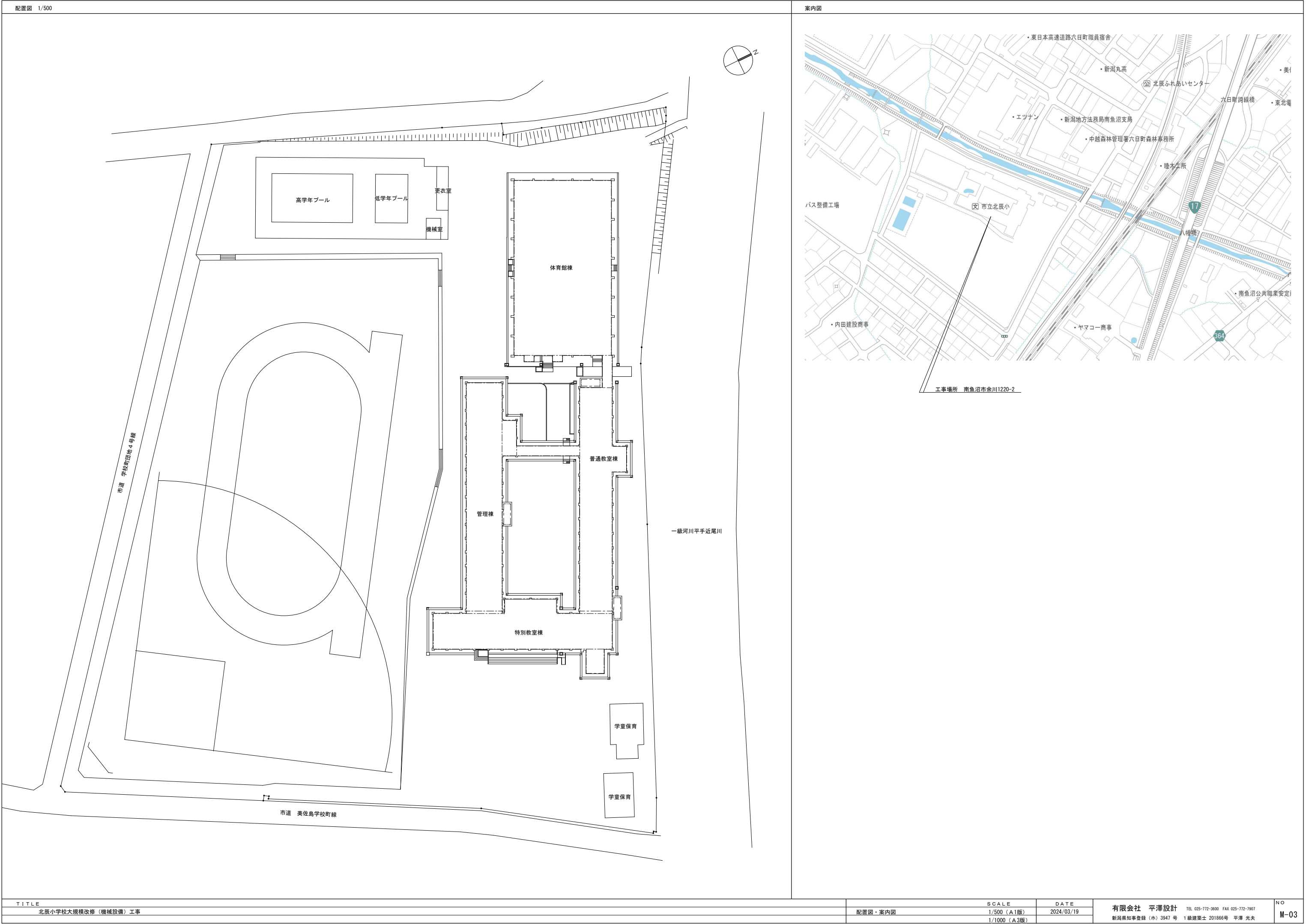
上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5. 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

6. 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

7. 協議について

建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。



TITLE	SCALE	DATE	NO
北辰小学校大規模改修（機械設備）工事	1/500（A1版）	2024/03/19	有限会社 平澤設計 TEL 025-772-3600 FAX 025-772-7907 新潟県知事登録（ホ）3947号 1級建築士 201866号 平澤 光夫 M-03
	配置図・案内図		
	1/1000（A3版）		

衛生設備 器具表 (改修前)

名 称	() 内 参考品番	室 名	合 計	管理棟														普通教室棟														備 考									
				管理棟 計	1 階							2 階							教室棟 計	1 階							2 階							3 階							
					職員 W	職員 M	手洗い場 (1)	校務員室	M W C (2)	W W C (2)	手洗い場 (2)	浴室	M W C (1)	W W C (1)	手洗い場 (1)	W W C (2)	M W C (2)	手洗い場 (2)		W W C (1)	M W C (1)	手洗い場 (1)	W W C (2)	M W C (2)	手洗い場 (2)	W W C (1)	M W C (1)	手洗い場 (1)	W W C (2)	M W C (2)	手洗い場 (2)		W W C (1)	M W C (1)	手洗い場 (1)	W W C (2)	M W C (2)	手洗い場 (2)			
洋風大便器	FV	撤去	22	10	2	2			1	1				1	1			1	1				12	1	1			1	1			1	1			1	1				
和風大便器	FV	撤去	50	14	2				1	1				2	3			3	2				36	4	2			4	2			4	2			4	2				
ストール小便器	FV	撤去	59	23		4			5					7				7					36		6			6				6			6			6			
掃除用流し		撤去	10	4			1				1					1				1			6			1			1				1			1					
仕切板		撤去	57	21		3			4					7				7					36		6			6				6			6						
L型手すり		撤去	2	2					1	1																															
小便器用手すり		撤去	1	1					1																																
洗面器		撤去	20	8	1	1			1	1				1	1			1	1				12	1	1			1	1			1	1			1	1				
化粧鏡		撤去	95	35	1	1	8		1	1	3			1	1	8	1	1	8				60	1	1	8	1	1	8		1	1	8	1	1	8			1	1	8
混合水栓	13A	撤去	1	1			1																																		
バス水栓	13A	撤去	1	1									1																												
シャワー水栓	13A	撤去	2	2								2																													
壁付自動水栓	(TEL20DSA)	単水栓・乾電池式	取外し	20	8		4										4						12			2			2			2			2			2			
吐水口回転型横水栓	13A	撤去	88	28			8				4					8			8				60			10			10			10			10			10			

衛生設備 器具表 (改修後)

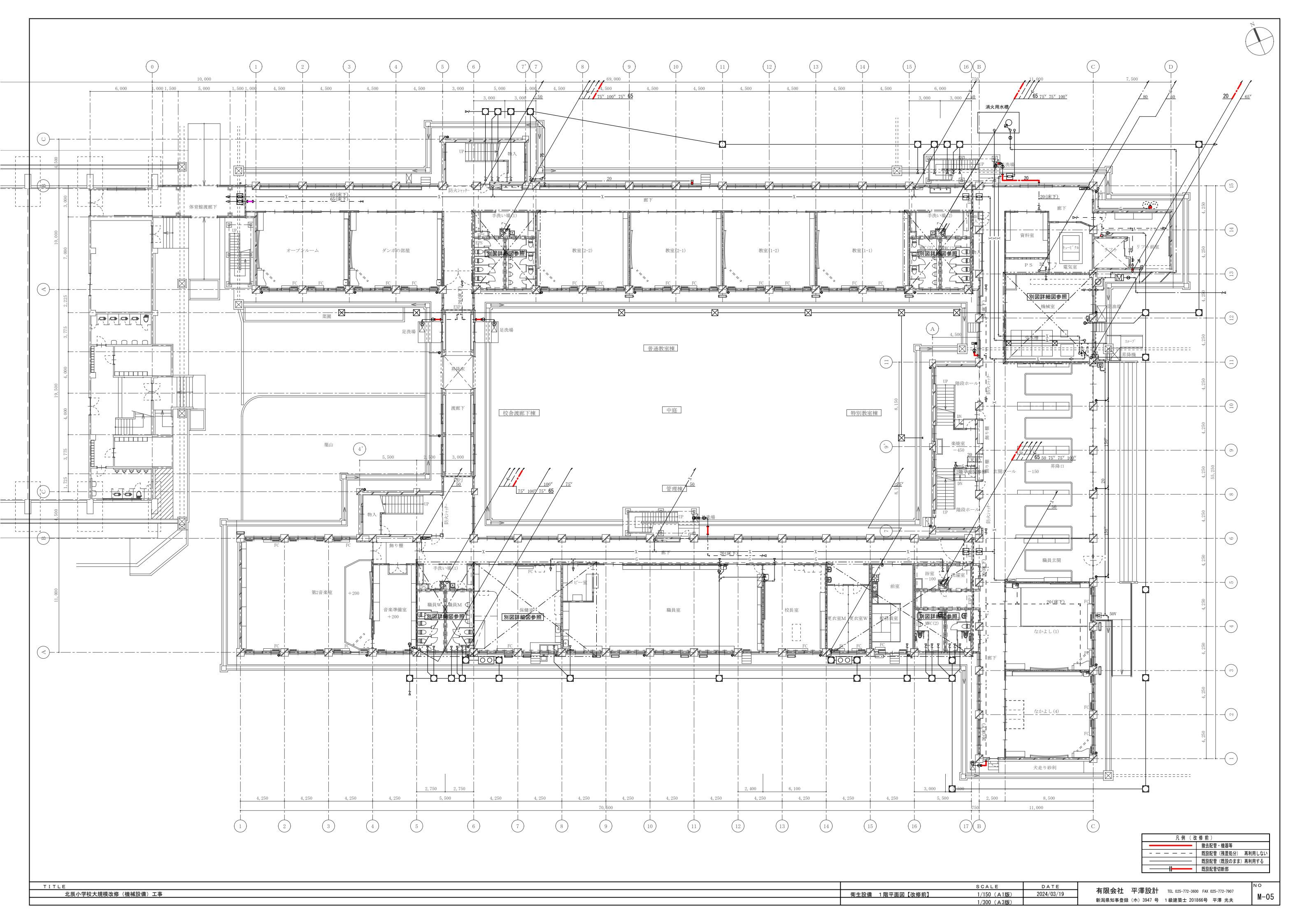
名 称	() 内 参考品番	室 名	合 計	管理棟														普通教室棟														備 考							
				管理棟 計	1 階							2 階							教室棟 計	1 階							2 階							3 階					
					職員 W	職員 M	手洗い場 (1)	校務員室	MWC (2)	WWC (2)	手洗い場 (2)		M更衣室	W更衣室	手洗い場 (1)	WWC (2)	MWC (2)	手洗い場 (2)		WWC (1)	MWC (1)	手洗い場 (1)	WWC (2)	MWC (2)	手洗い場 (2)	WWC (1)	MWC (1)	手洗い場 (1)	WWC (2)	MWC (2)	手洗い場 (2)								
洋風大便器(掃除口付)	(CFS498BMCK) 温水洗浄便座 (TCF5534)	新設	56	14	4	2				1										4	3							4	3								AC100V-311W		
(洗浄便座)	フラッシュタンク (SP498BAY) 棚付二連 (YH702) 他附属品一式																																						
洋風大便器(掃除口付)	(CFS498BMCK) 温水洗浄便座・蓋無し (TCF5554AUPR)	新設	2	2					1	1																											AC100V-409W		
(洗浄便座)	フラッシュタンク (SP498BAY) 棚付二連 (YH702) 他附属品一式																																						
壁掛型小便器(掃除口付)	(UFS900JCS) 低リッパ®、節水、感知FV一体形	新設	33	9		3			2							4												4					4				AC100V		
L型手すり	(T112CL11) 固定金具共	新設	2	2					1	1																													
可動式手すり	(T112H7) 固定金具共	新設	2	2					1	1																													
小便器用手すり	(T112CU22) 固定金具共	新設	1	1					1																														
壁掛洗面器	(L250C) 自動水栓、Pトラップ® 他付属品一式	新設	2	2					1	1																											AC100V 0.6kw		
	電気温水器 壁掛形 0.3L																																						
化粧鏡	(YM3545F) 350×450×5t	新設	74	26			8		1	1					8		8		48			8		8			8			8			8						
湯水混合水栓	(TKS05312J) 壁付シングルレバー	新設	1	1			1																																
壁付自動水栓	(TEL20DSA) 単水栓・乾電池式	新設	55	19		4					3				8		4		36			6		6		6			6				6						
壁付自動水栓	(TEL20DSA) 単水栓・乾電池式	再取付	20	8		4											4		12			2		2		2			2			2		2					
自在水栓 (泡沫式)	13-F5	新設	9	3		1								1		1		6			1		1			1			1			1		1					
流し	1500L	新設	1	1			1																																
コンロ台	600L	新設	1	1			1																																
吊戸棚	1500L	新設	1	1			1																																

衛生設備 機器表 (改修前)

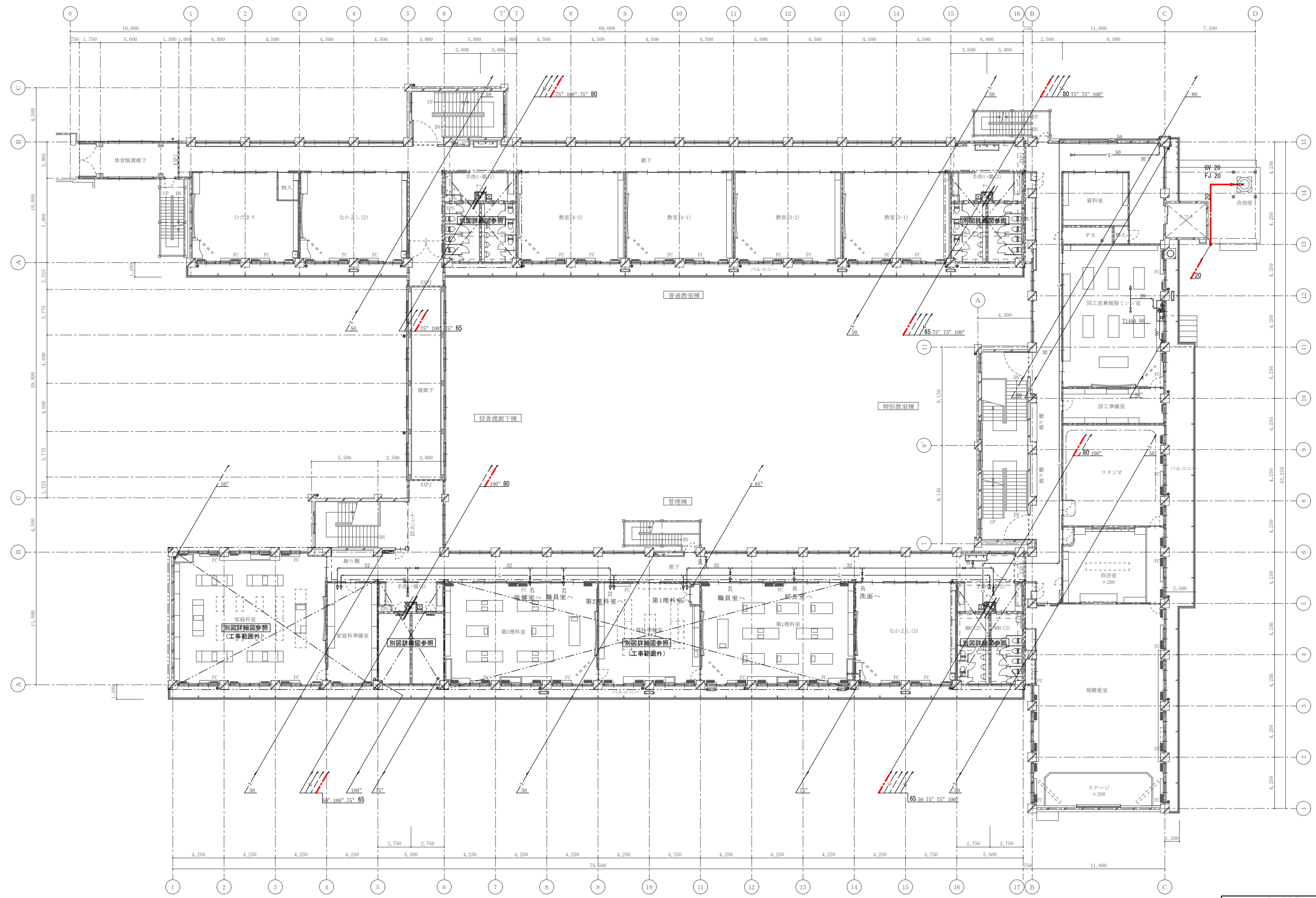
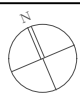
記号	名称	仕様	電源	消費電力	台数	設置場所	備考
WHE-1	貯湯式電気温水器	床置き型 適温出湯タイプ 貯湯量25L ウィークリータイマー 耐震脚	1φ200v	2.0kw	16	普通教室棟 1～3階 手洗い場×12	(REW25C2DRR)
	〈取外し〉	延長ホース 逆止弁付きボール弁 フレキシブルチューブ 他付属品一式				管理棟 1～2階 手洗い場×4	
		ドブメッキブラケット 架台 壁付自動水栓TEL20DSA (乾電池式) ×2個共					
WHE-2R	貯湯式電気温水器	壁掛け型 貯湯量 3L	1φ100v	0.6kw	1	管理棟 1階 手洗い場 (2)	
	〈撤去〉						
WHG-1R	ガス給湯器	屋内壁掛け型 F F方式 16号	1φ100v		1	管理棟 1階 校務員室	
	〈撤去〉						

衛生設備 機器表 (改修後)

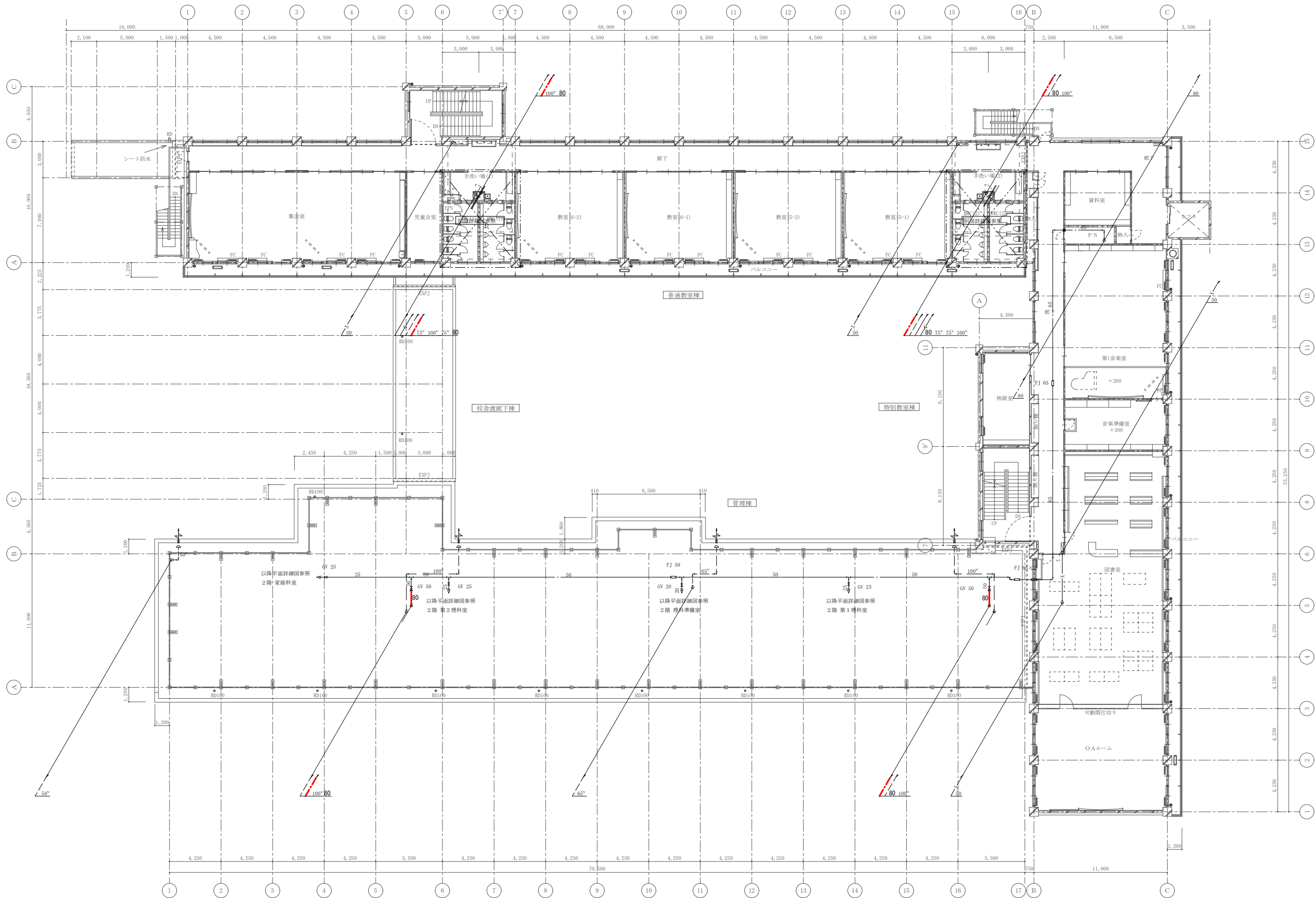
記号	名称	仕様	電源	消費電力	台数	設置場所	備考
WHE-1	貯湯式電気温水器	床置き型 適温出湯タイプ 貯湯量25L ウィークリータイマー 耐震脚	1φ200v	2.0kw	16	普通教室棟 1～3階 手洗い場×12	(REW25C2DRR)
	〈再取付〉	延長ホース 逆止弁付きボール弁 フレキシブルチューブ 他付属品一式				管理棟 1～2階 手洗い場×4	
		ドブメッキブラケット 架台 壁付自動水栓TEL20DSA (乾電池式) ×2個共					
WHE-2	貯湯式電気温水器	床置形 温度調節タイプ 貯湯量：12L	1φ100v	1.1kw	1	管理棟 1階 校務員室	
	〈新設〉	ウィークリータイマー、耐震脚、排水ホッパー、アングル止水栓、					
		フレキシブルチューブ 他附属品一式共					



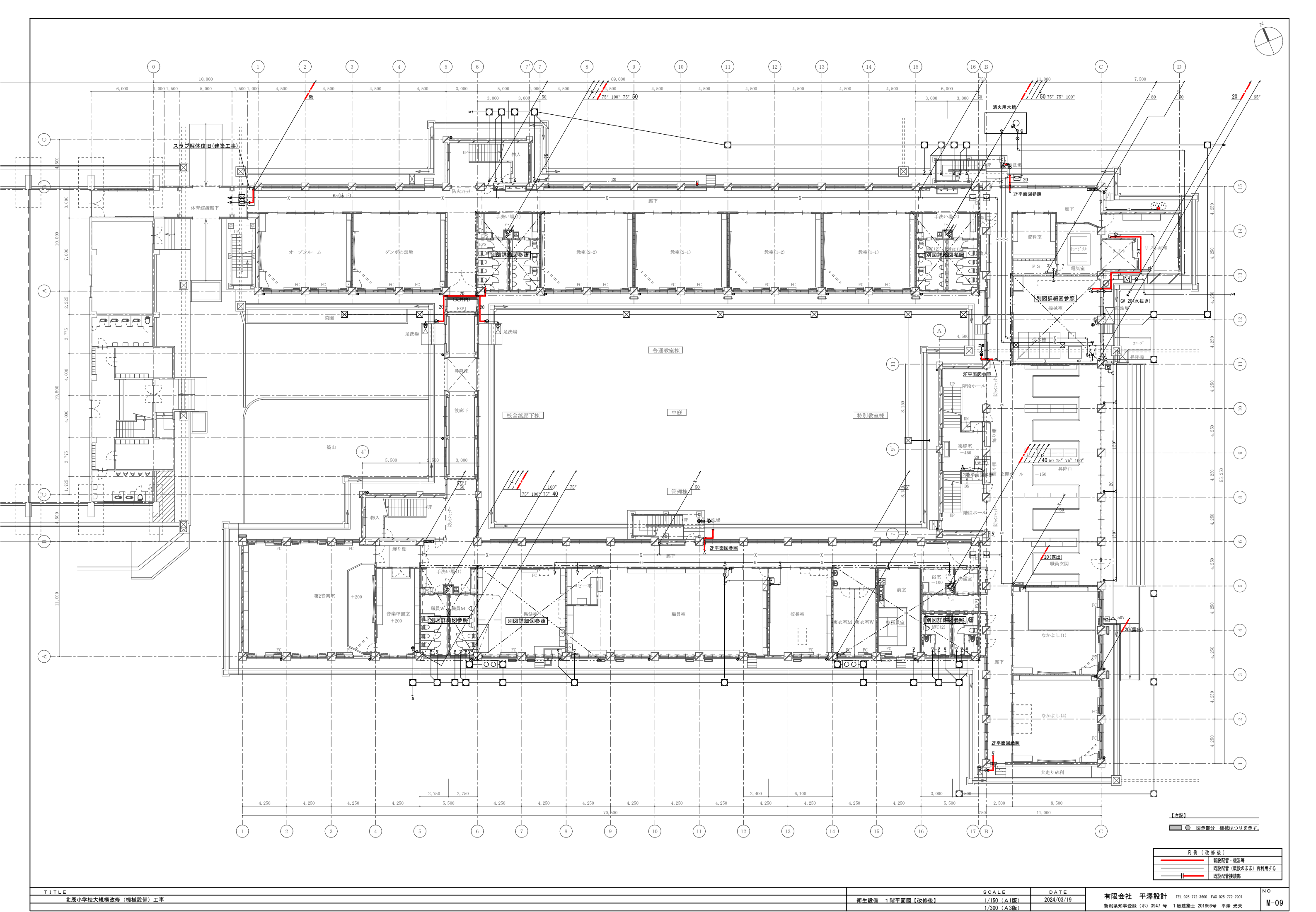
凡例（改修前）	
	撤去配管・機器等
	既設配管（位置処分） 再利用しない
	既設配管（既設のまま） 再利用する
	既設配管切断部



凡例 (改修前)	
	撤去配管・機器等
	既設配管 (残置処分) 再利用しない
	既設配管 (既設のまま) 再利用する
	既設配管切断部

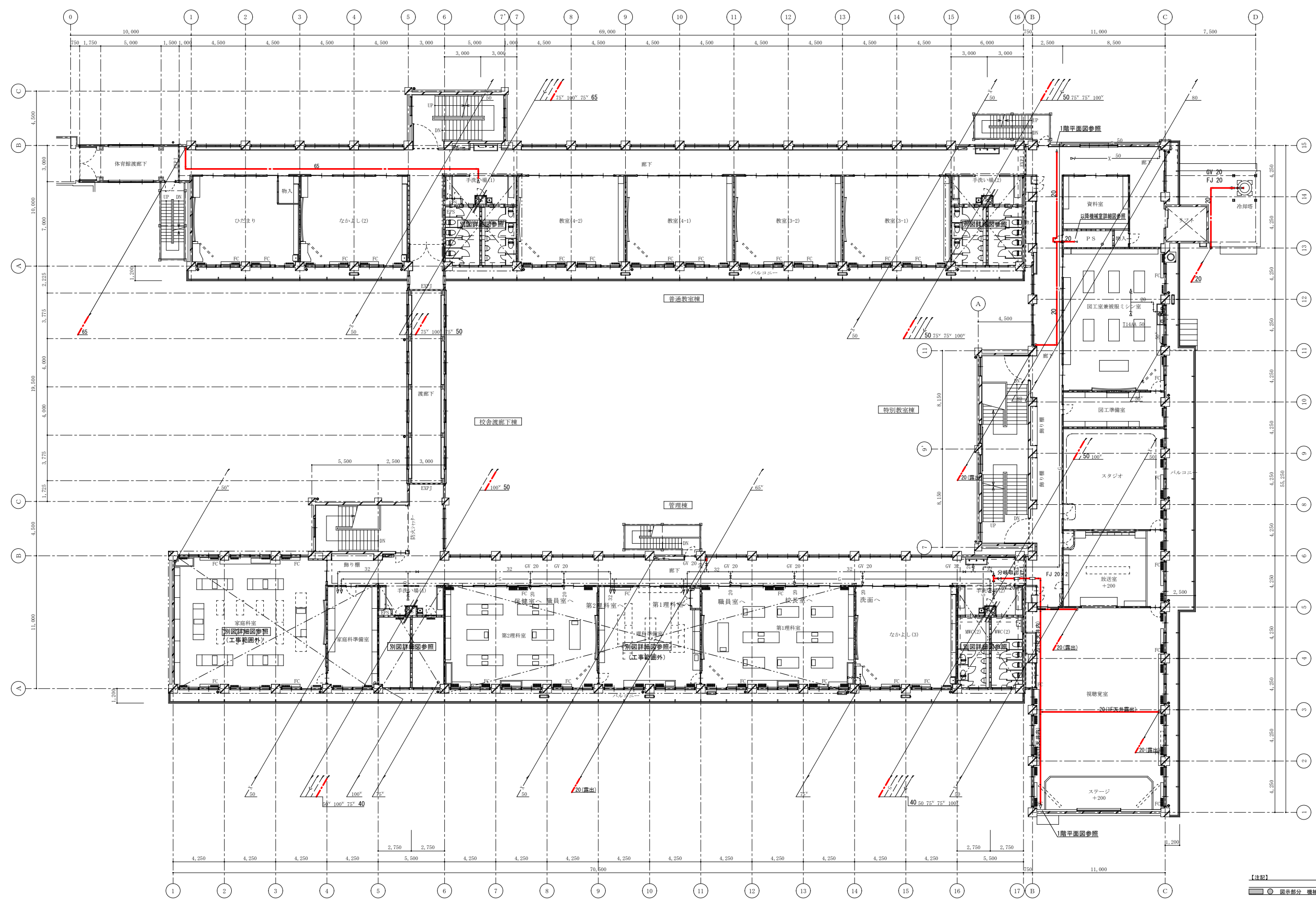


凡例 (改修前)	
	撤去配管・機器等
	既設配管 (残置処分) 再利用しない
	既設配管 (既設のまま) 再利用する
	既設配管切断部



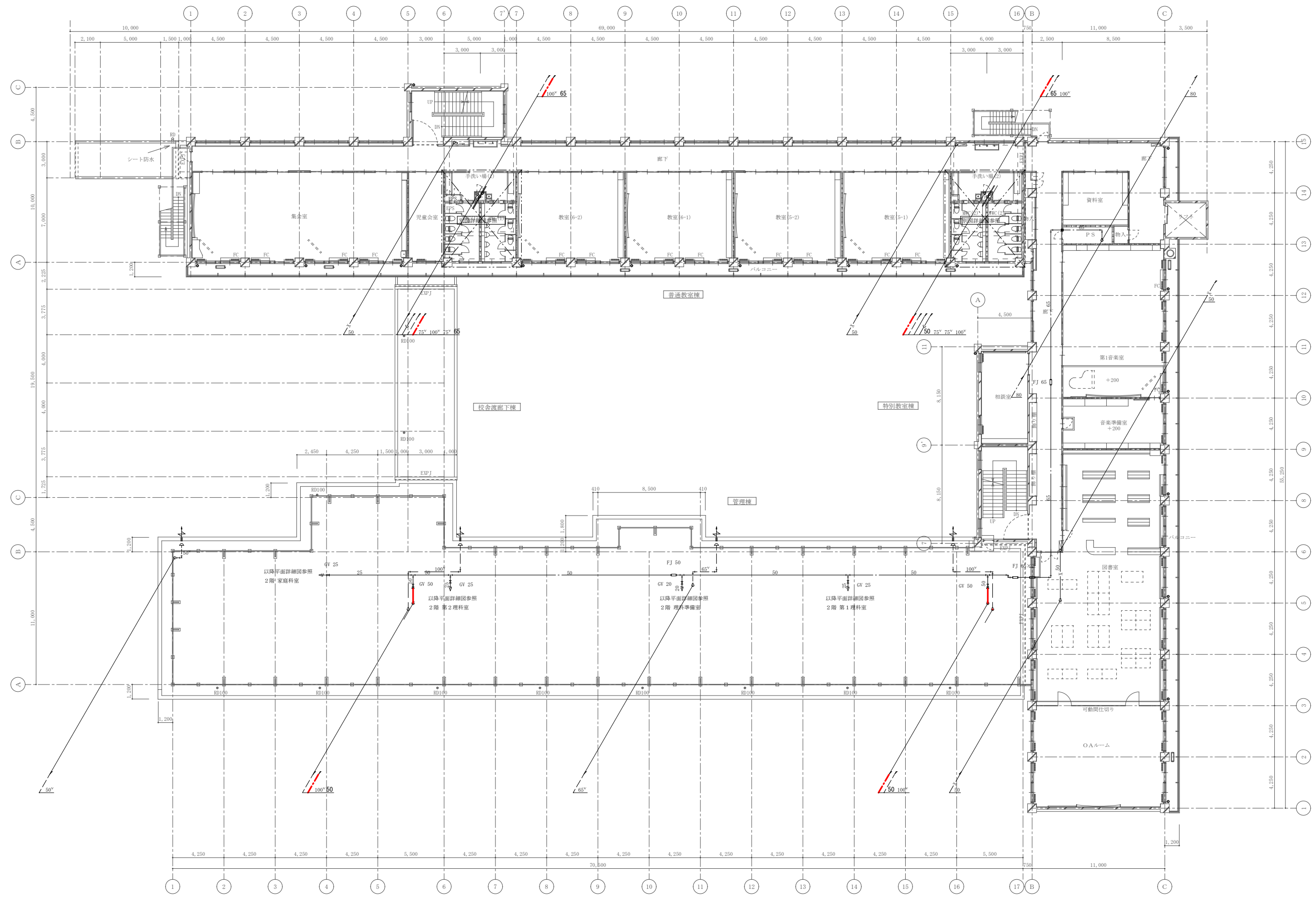
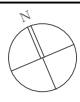
【注記】
○ 図示部分 機械はつりを示す。

凡例（改修後）	
—	新設配管・機器等
—	既設配管（既設のまま）再利用する
— —	既設配管接続部

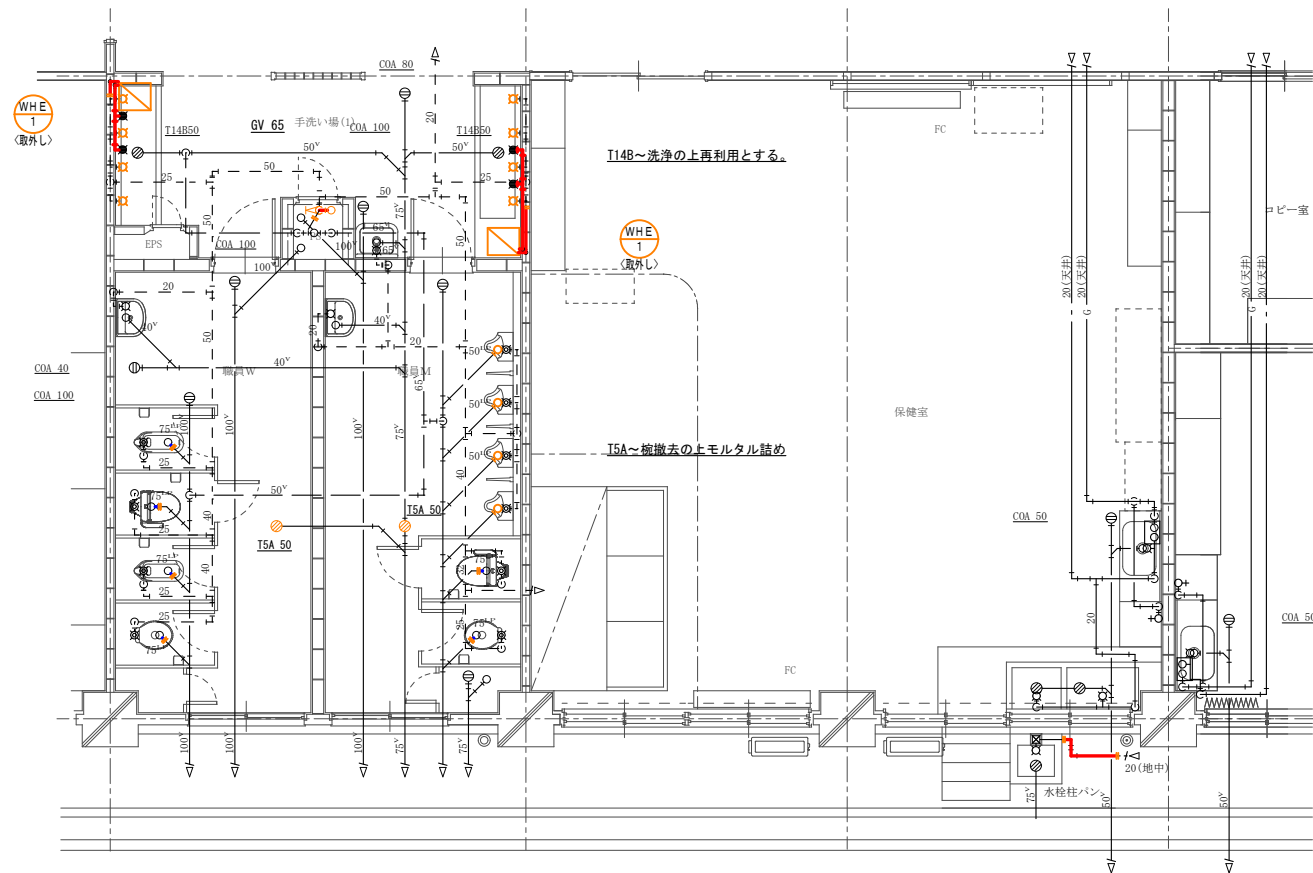


【注記】
● 図示部分 機械はつり示す。





凡例（改修後）	
—	新設配管・機器等
—	既設配管（既設のまま）再利用する
— —	既設配管接続部

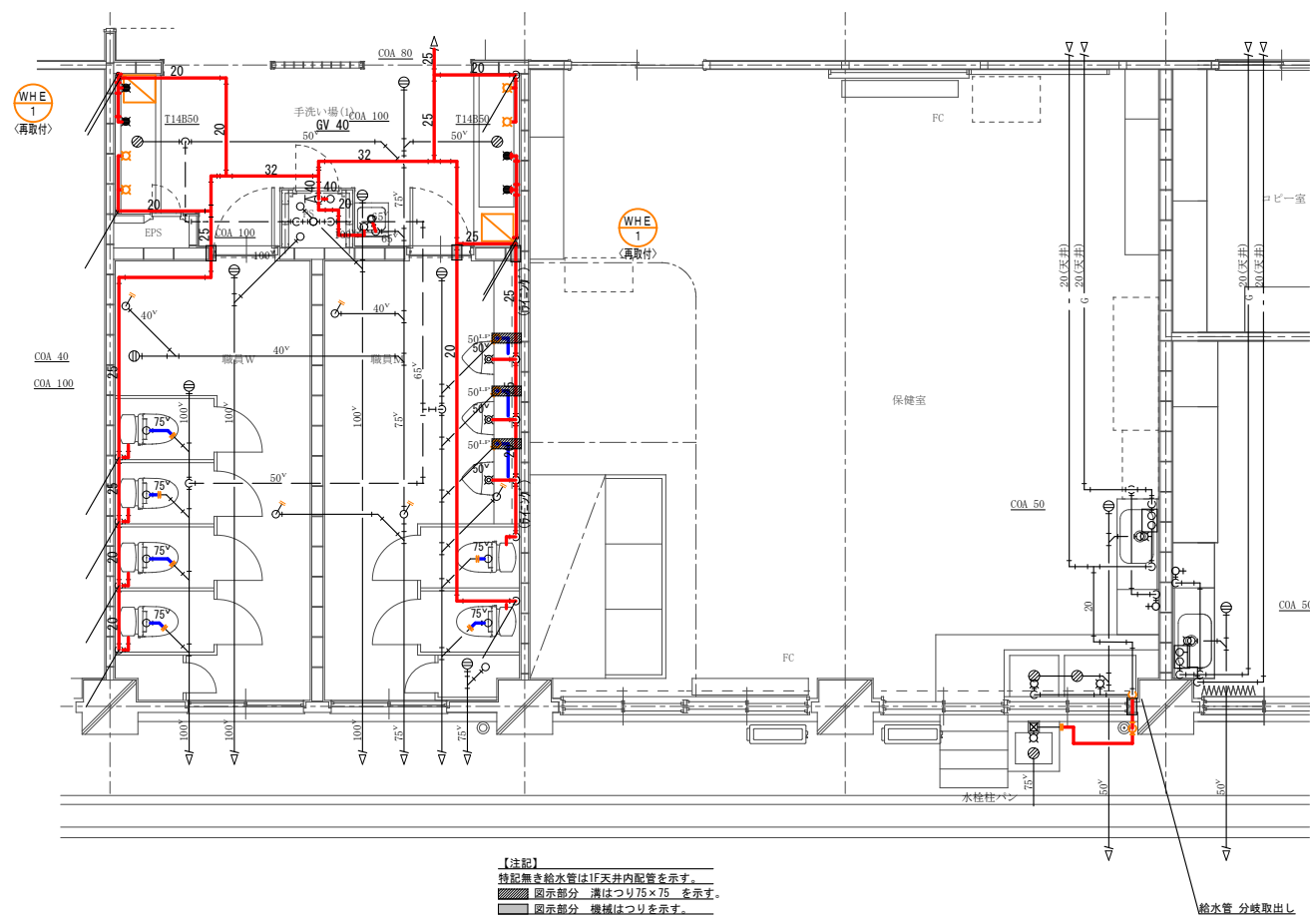


凡例 (改修後)	
	新設配管・機器等
	既設配管 (既設のまま) 再利用する
	既設配管接続部



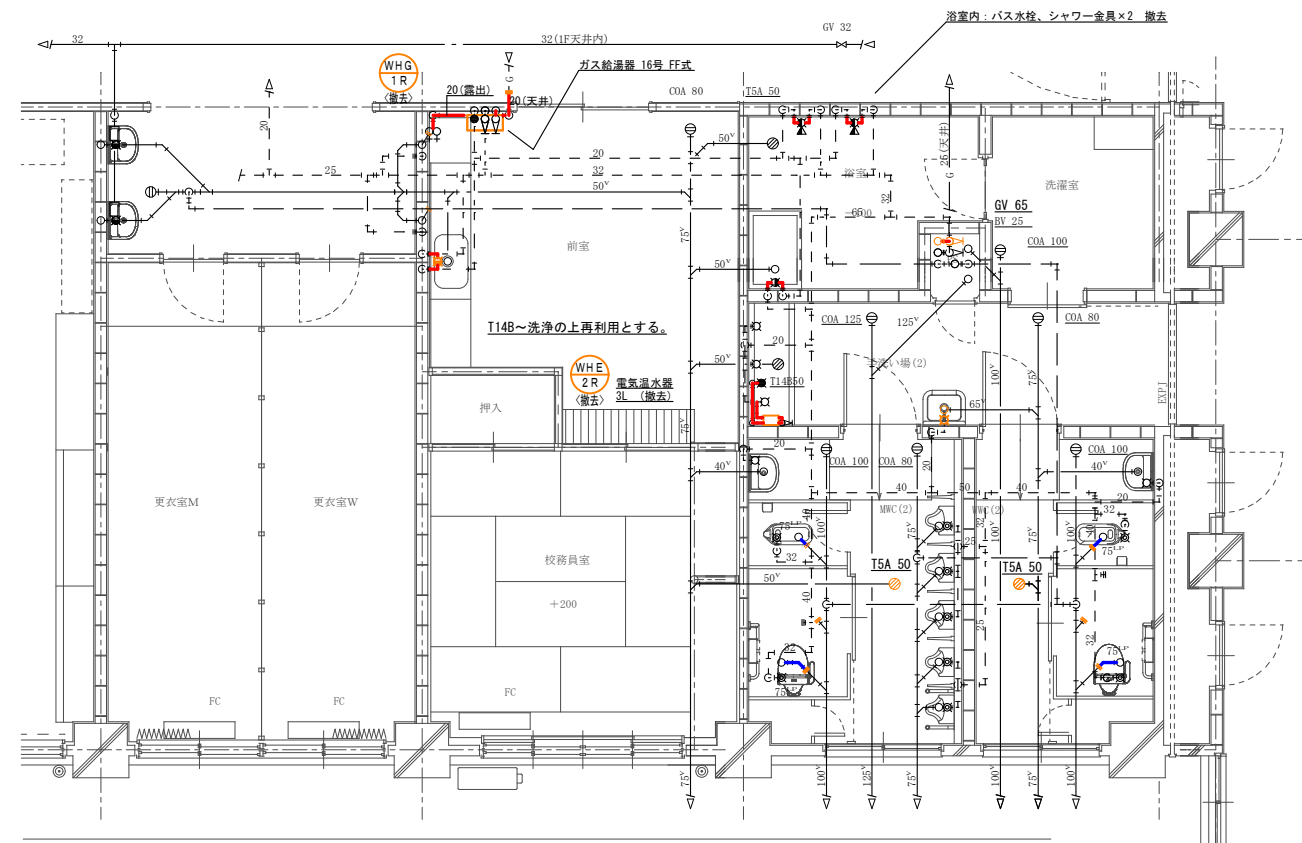
T5A～椀撤去の上モルタル詰め

凡 例（改 修 前）	
	撤去配管・機器等
	既設配管（残置処分） 再利用しない
	既設配管（既設のまま） 再利用する
	既設配管切断部





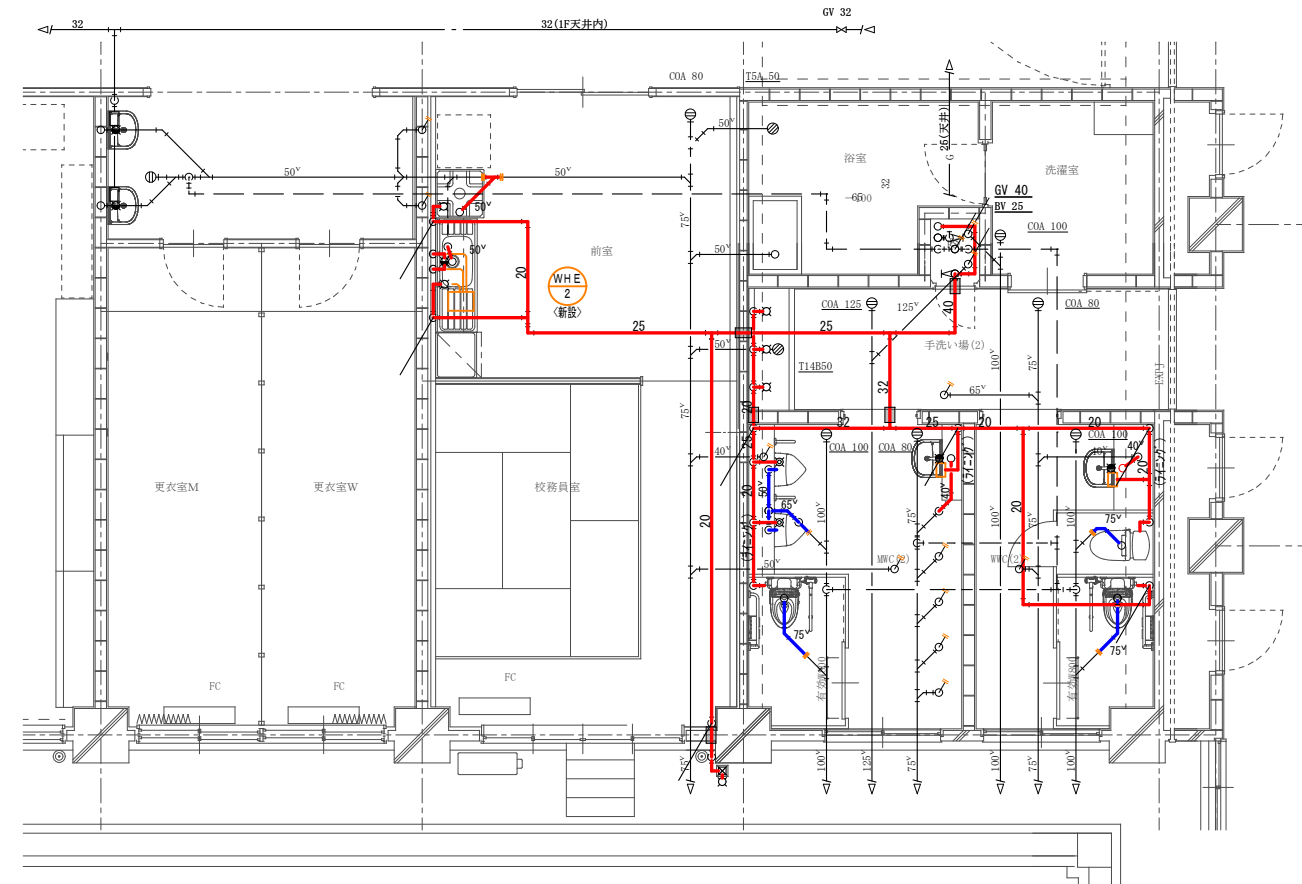
【注記】
特記無き給水管は1F天井内配管を示す。
図示部分 溝はつり75×75を示す。
図示部分 機械はつりを示す。



給水管 分岐取出し



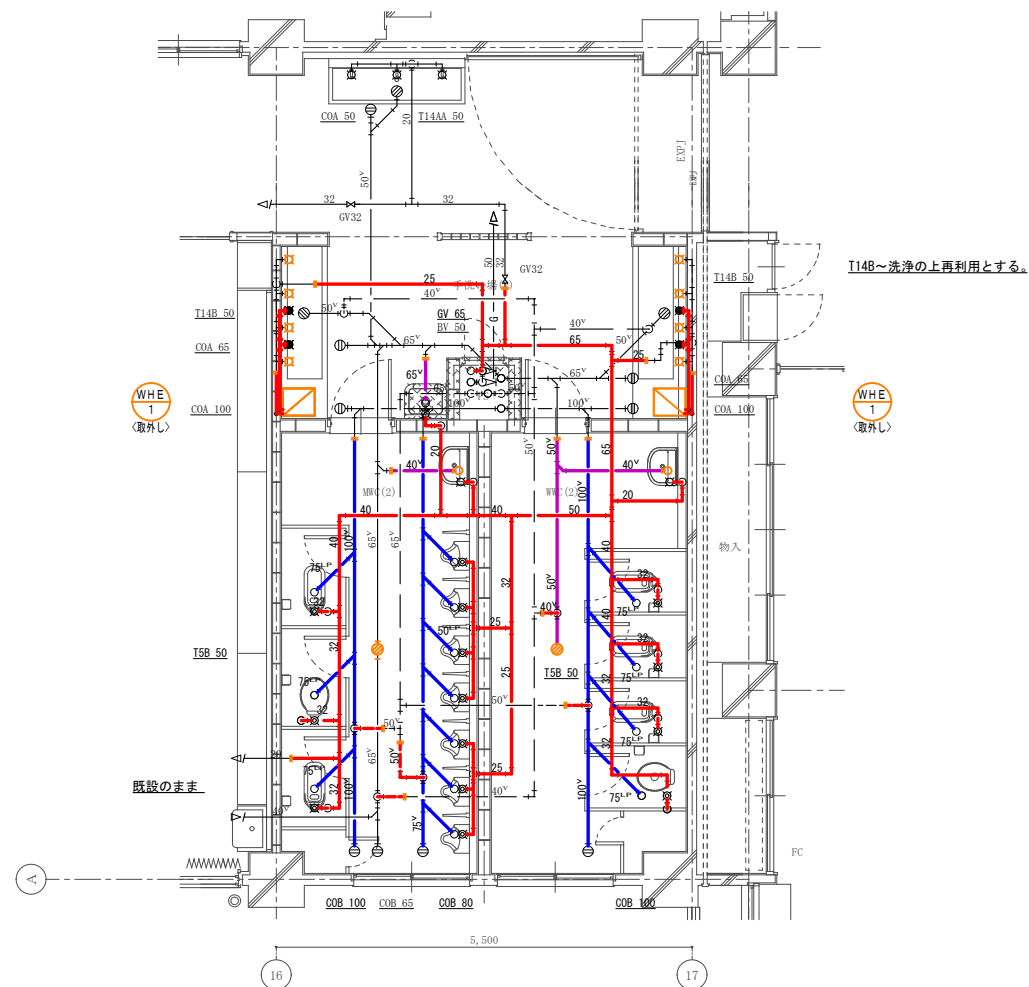
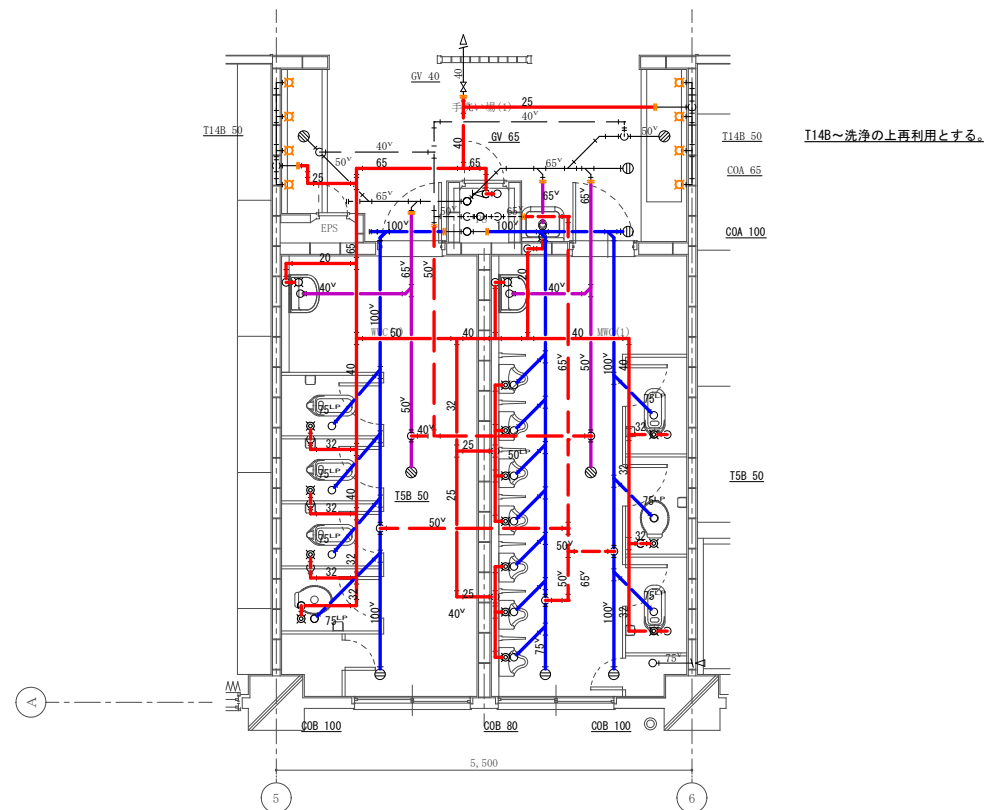
T5A～椀撤去の上モルタル詰め





凡 例（改 修 前）	
	撤去配管・機器等
	既設配管（残置処分） 再利用しない
	既設配管（既設のまま） 再利用する
	既設配管切断部

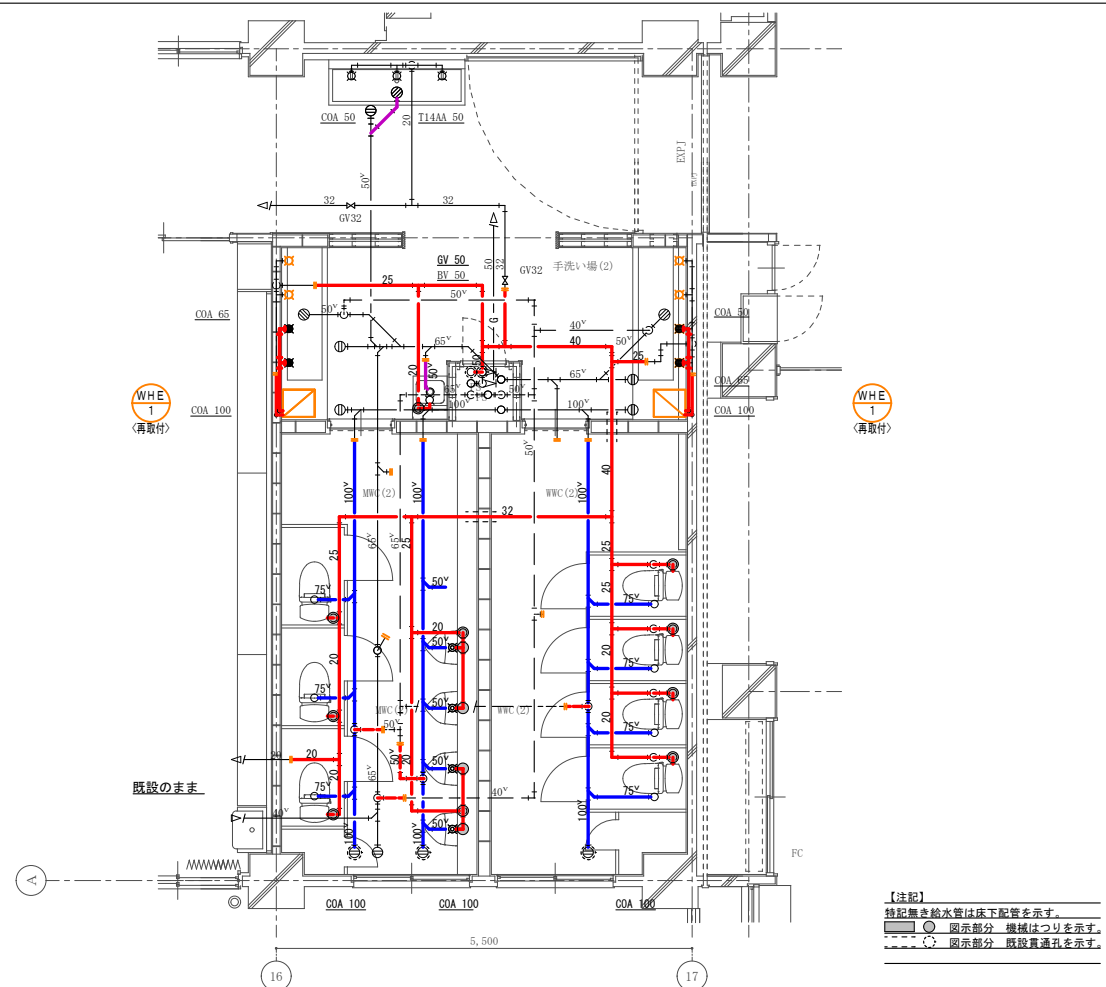
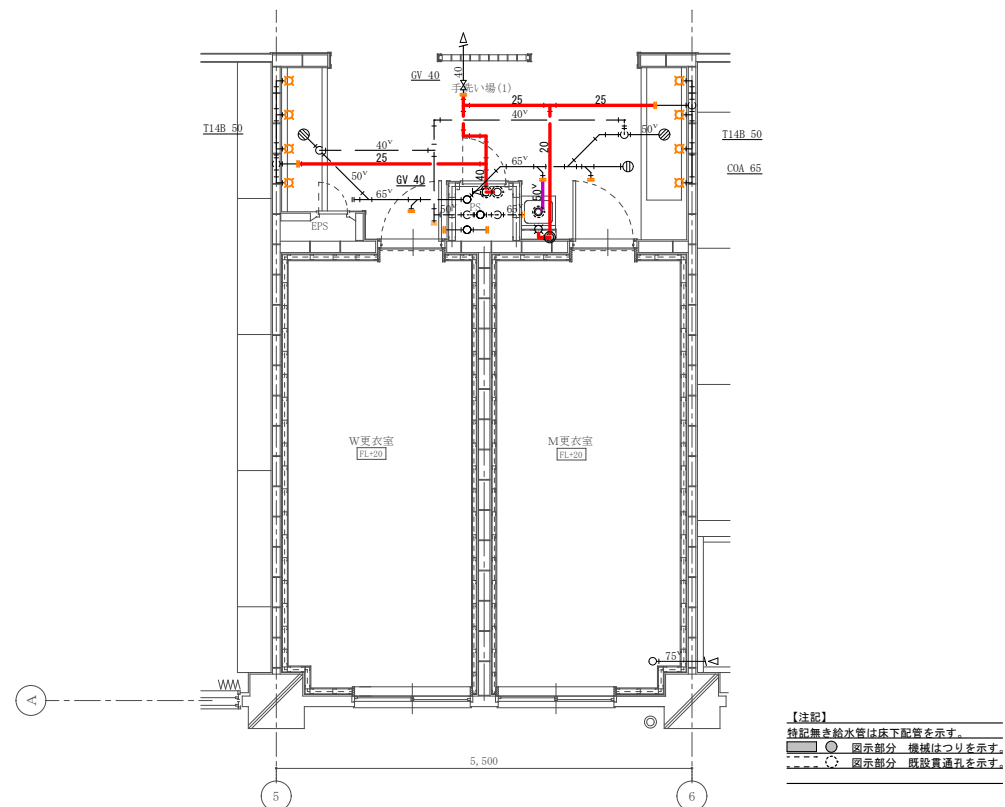




【注記】
特記無き給水管は1F天井内配管を示す。

 図示部分 機械はつりを示す。

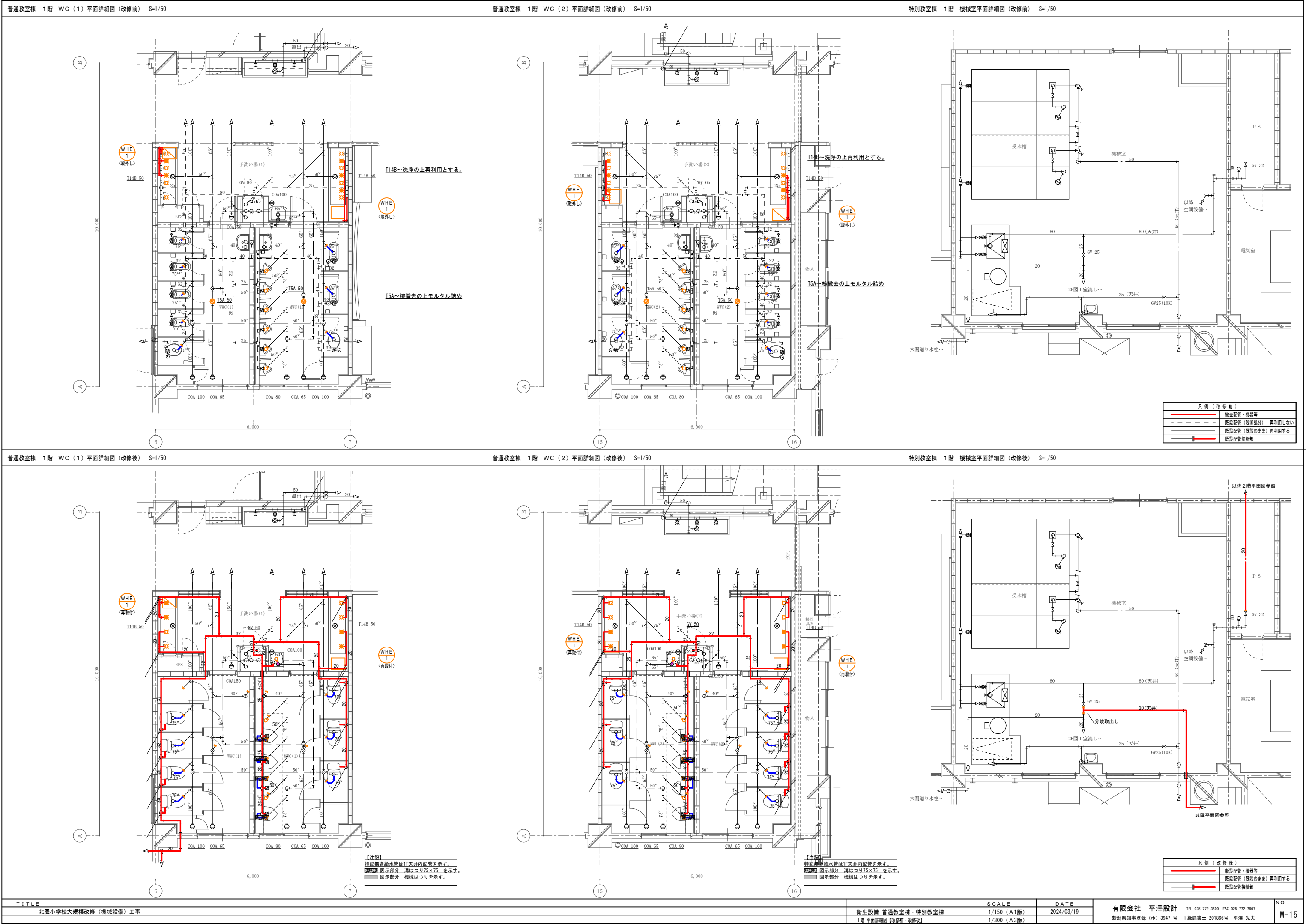
新設配管・機器等	
既設配管・機器等	

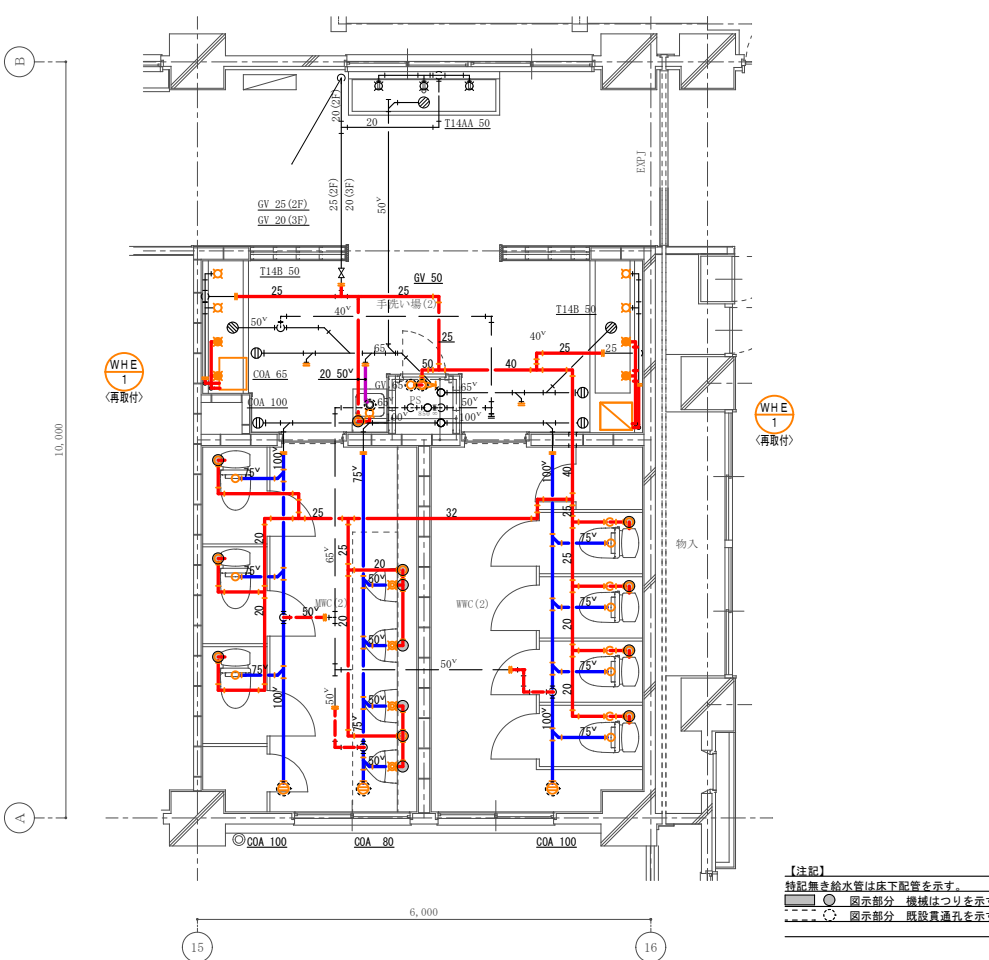
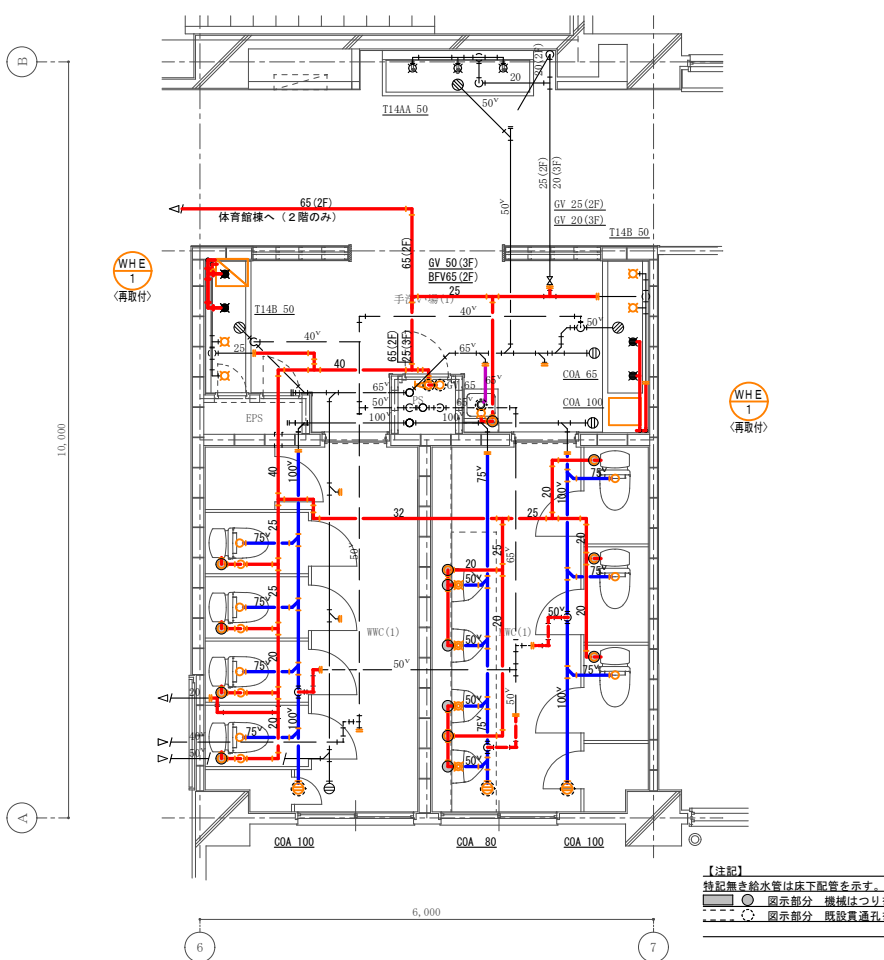
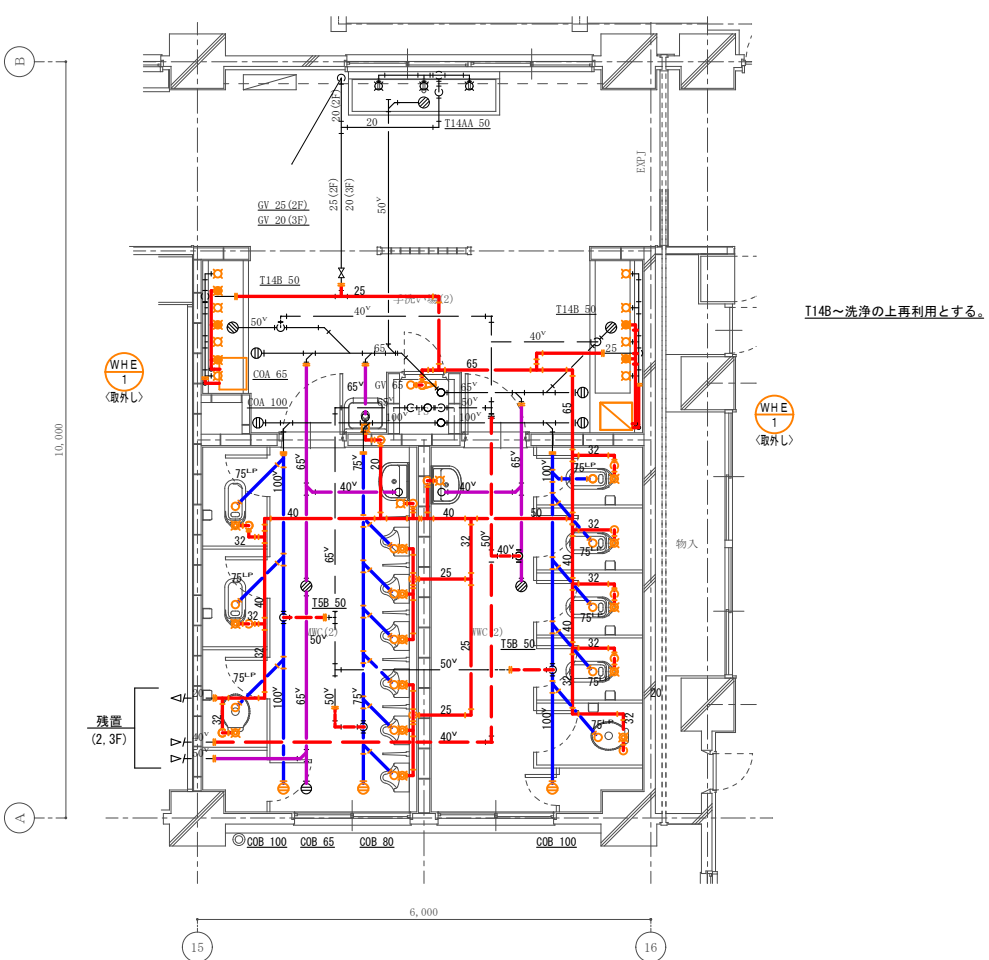
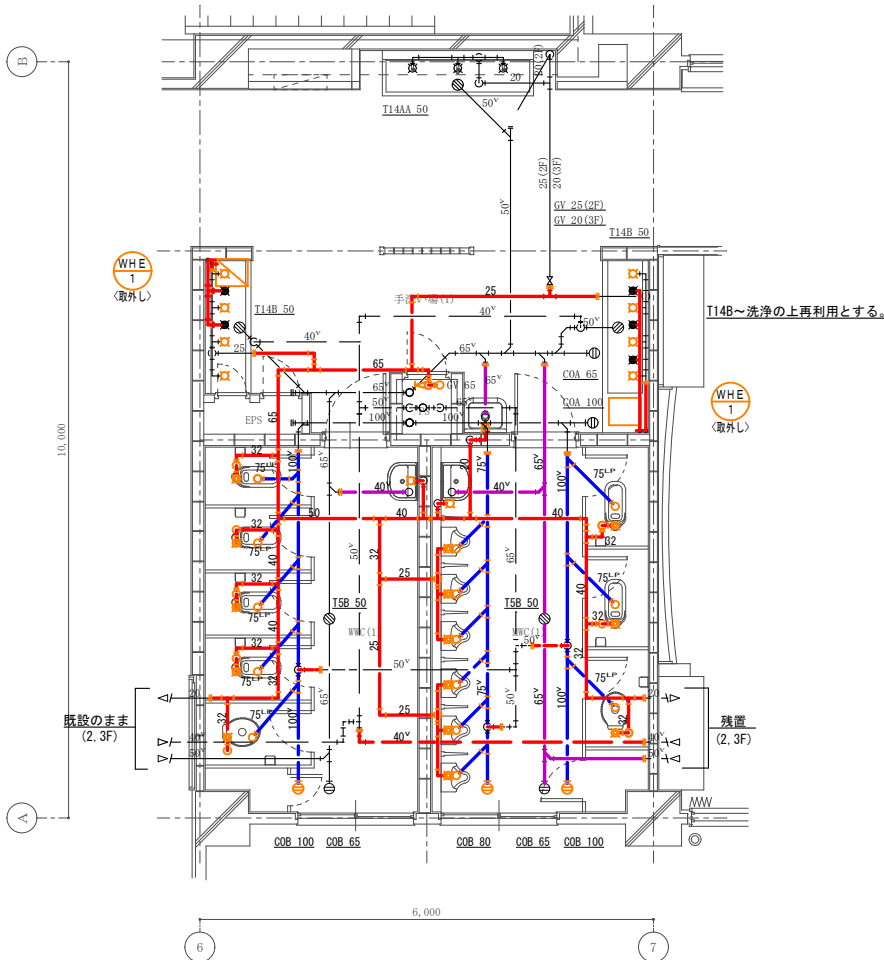


凡 例（改 修 前）	
	撤去配管・機器等
	既設配管（残置処分） 再利用しない
	既設配管（既設のまま） 再利用する
	既設配管切断部



凡 例（改 修 後）	
	新設配管・機器等
	既設配管（既設のまま）再利用する
	既設配管接継部





換氣設備 機器表（撤去）

[illegible]

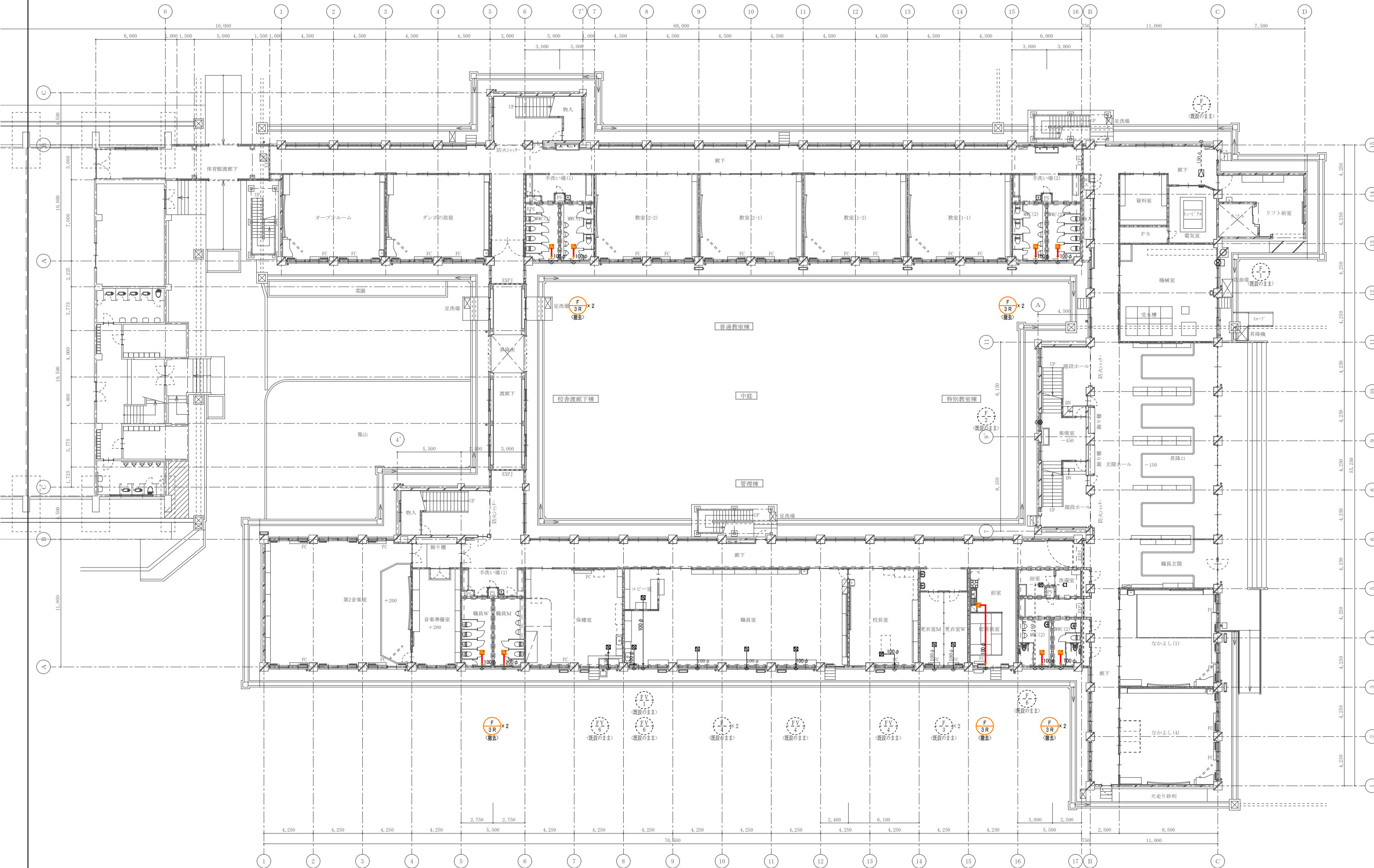
※ベンドキャップはすべて撤去とする。（建築工事）

換氣設備 機器表 (改修)

記号	名称	仕様	電源	消費電力	台数	設置場所	備考（ ）内参考
F-1	壁取付型換気扇 ＜既設のまま＞	連動式シャッター 250φ 木枠、フード共	1φ100v		1	1階 特別教室棟 機械室	
F-2	パイプファン ＜既設のまま＞	標準型 120φ	1φ100v		1	1階 特別教室棟 薬焼室	
F-3	天井埋込型換気扇 ＜既設のまま＞	標準型 140φ VP 100φ	1φ100v		2	1階 管理棟 更衣室M 1階 管理棟 更衣室W	
F-4	天井埋込型換気扇 ＜既設のまま＞	低騒音型 140φ VP 100φ	1φ100v		17	1階 管理棟 職員室×2 2階 管理棟 第1理科室×3 2階 管理棟 理科準備室×2 2階 管理棟 第2理科室×3 2階 管理棟 家庭科準備室 2階 管理棟 家庭科室×6	
F-5	天井埋込型換気扇 ＜既設のまま＞	低騒音型 180φ VP 150φ	1φ100v		2	2階 特別教室棟 視聴覚室×2	
F-6	天井埋込型換気扇 ＜既設のまま＞	二部屋型 140φ VP 100φ	1φ100v		1	1階 管理棟 浴室	
F-7	中間ダクトファン ＜既設のまま＞	標準型 200φ VP 150φ	1φ100v		1	1階 特別教室棟 電気室	
FV-2	天井埋込型換気扇 ＜新設＞	低騒音形 金属型 180φ × 250CMH × 80Pa	1φ100v	35	1	1階 管理棟 前室	(VD-18ZP13)
FV-3	天井埋込型換気扇 ＜新設＞	低騒音形 格子タイプ 180φ × 250CMH × 80Pa	1φ100v	33	2	2階 管理棟 W更衣室 2階 管理棟 M更衣室	(VD-18ZXP13-C)
FV-4	天井埋込型換気扇 ＜新設＞	低騒音形 格子タイプ 200φ × 350CMH × 80Pa	1φ100v	42	2	1階 管理棟 WWC(2) 1階 管理棟 MWC(2)	(VD-20ZXK13-C)
FV-5	天井埋込型換気扇 ＜新設＞	低騒音形 格子タイプ 200φ × 400CMH × 80Pa	1φ100v	54	12	1～3階 普通教室棟 WWC(2) 1～3階 普通教室棟 MWC(2) 1～3階 普通教室棟 MWC(1) 1～3階 普通教室棟 WWC(1)	(VD-20ZXP13-C)
FV-7	天井埋込型換気扇 ＜新設＞	低騒音形 格子タイプ 230φ × 450CMH × 80Pa	1φ100v	74	4	1階 管理棟 職員M 1階 管理棟 職員W 2階 管理棟 WWC(2) 2階 管理棟 MWC(2)	(VD-23ZX13-C)

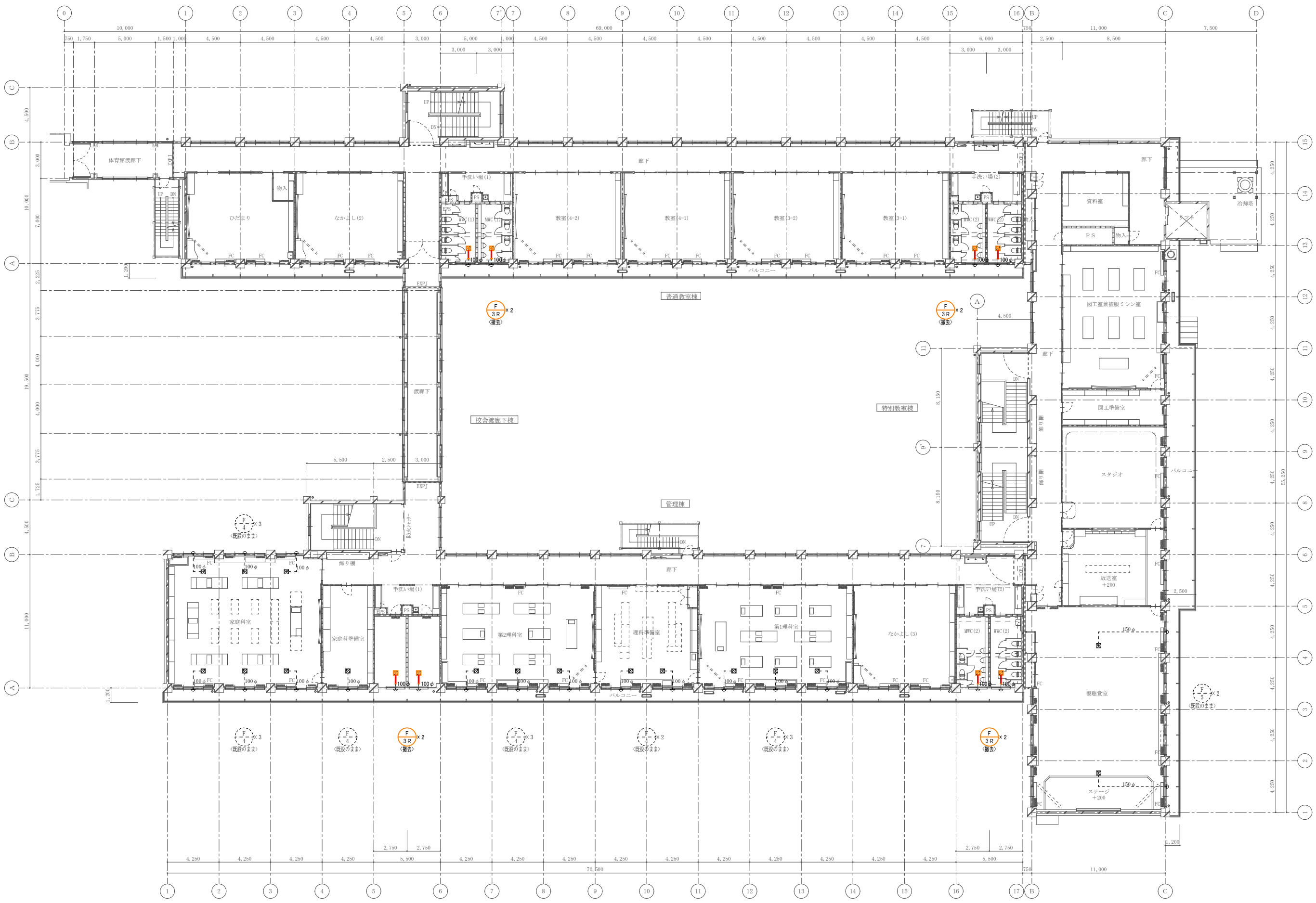
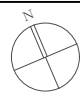
※ベンドキャップはすべて新設する。ただし口径は既設と同じとする。（建築工事）

TITLE	SCALE	DATE	NO
北辰小学校大規模改修（機械設備）工事	換気設備 機器表【改修前・改修後】	2024/03/19	M-17
	FREE（A1版） FREE（A3版）		



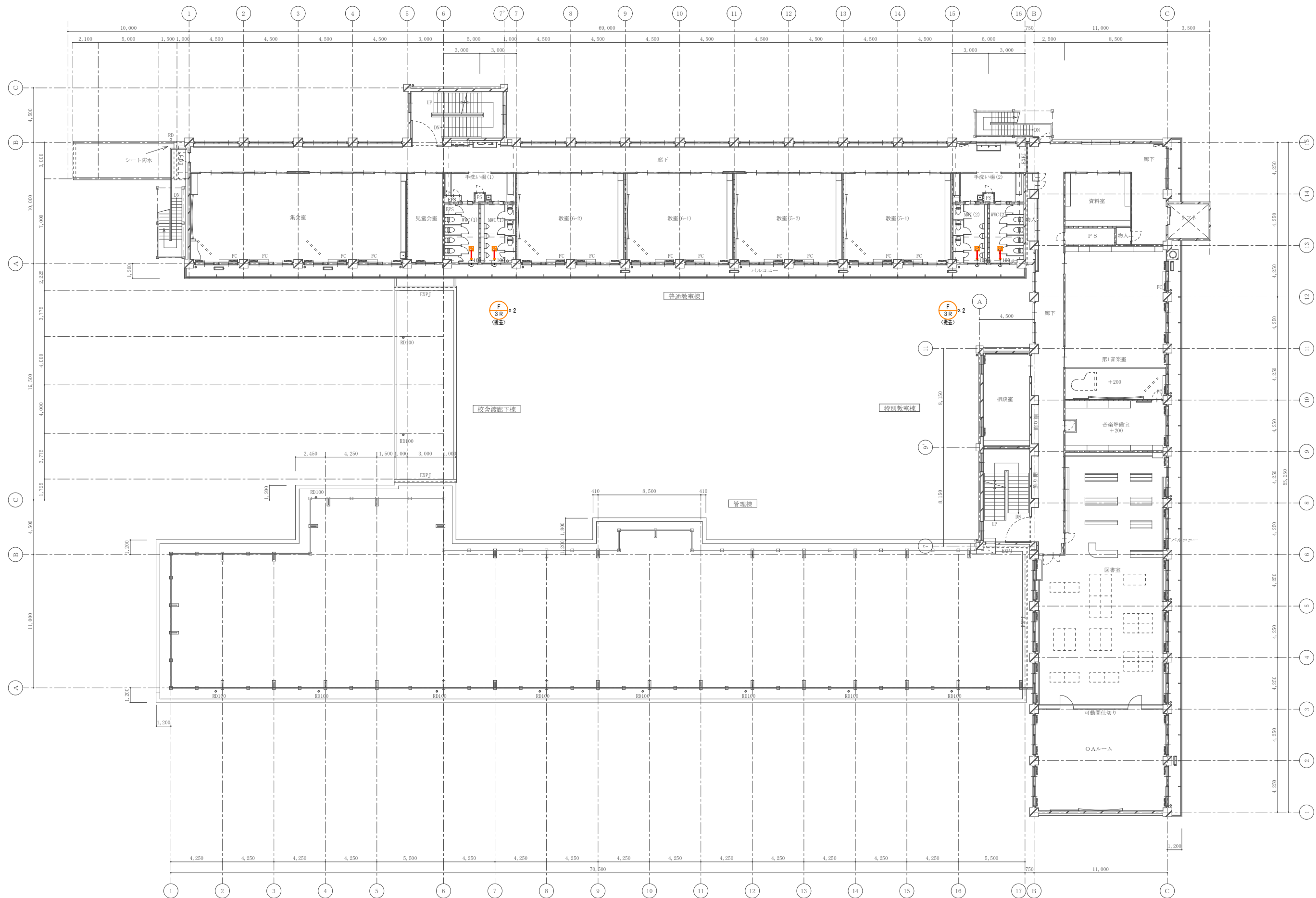
注記
既設ベンドキャップ、排気フード等は既設のままとする。
使用管材・・・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)


凡例 (改修前)	
—	撤去配管・機器等
---	既設配管・機器等
 	既設配管切断部

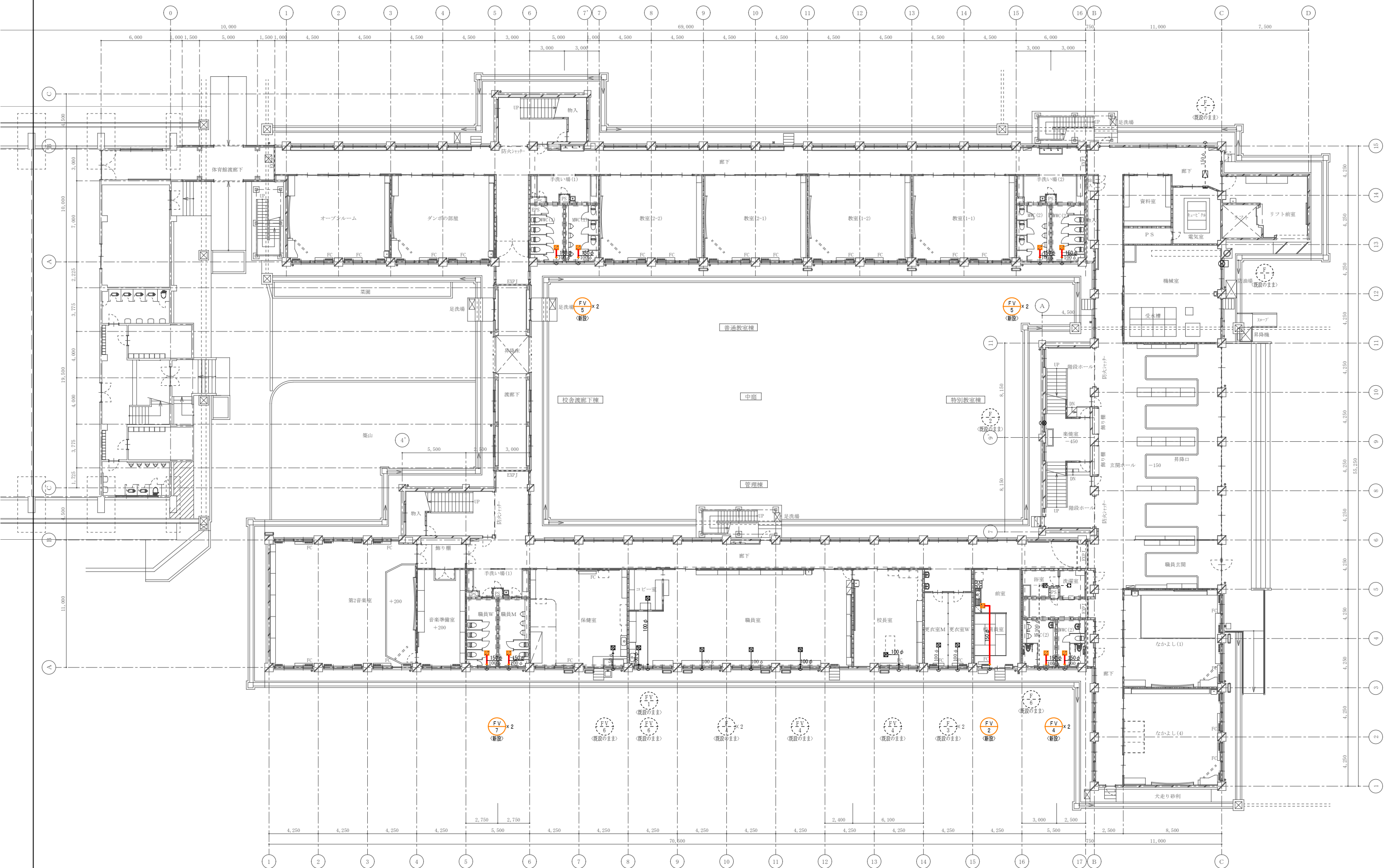
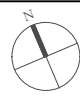


凡例 (改修前)	
	撤去配管・機器等
	既設配管・機器等
	既設配管切断部

注記
既設バンドキャップ、排気フード等は既設のままとする。
使用管材・・・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)



	撤去配管・機器等
	既設配管・機器等
	既設配管切断部



注記

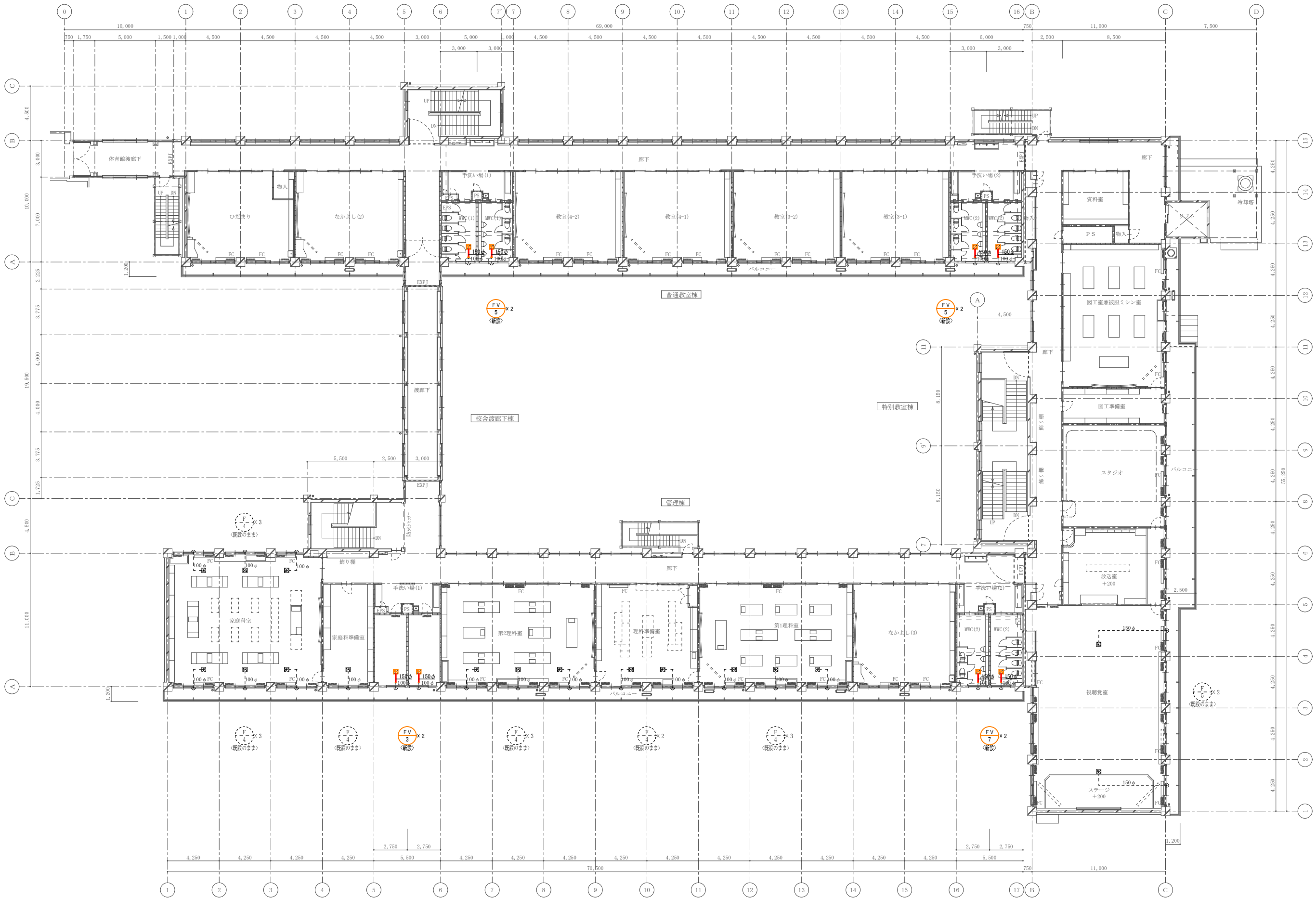
既設バンドキャップ、排気フード等は既設のままとする。

使用管材・・・スパイラルダクト (新設部分)

暖房ポリ塩化ビニル管 (VP) (既設部分)

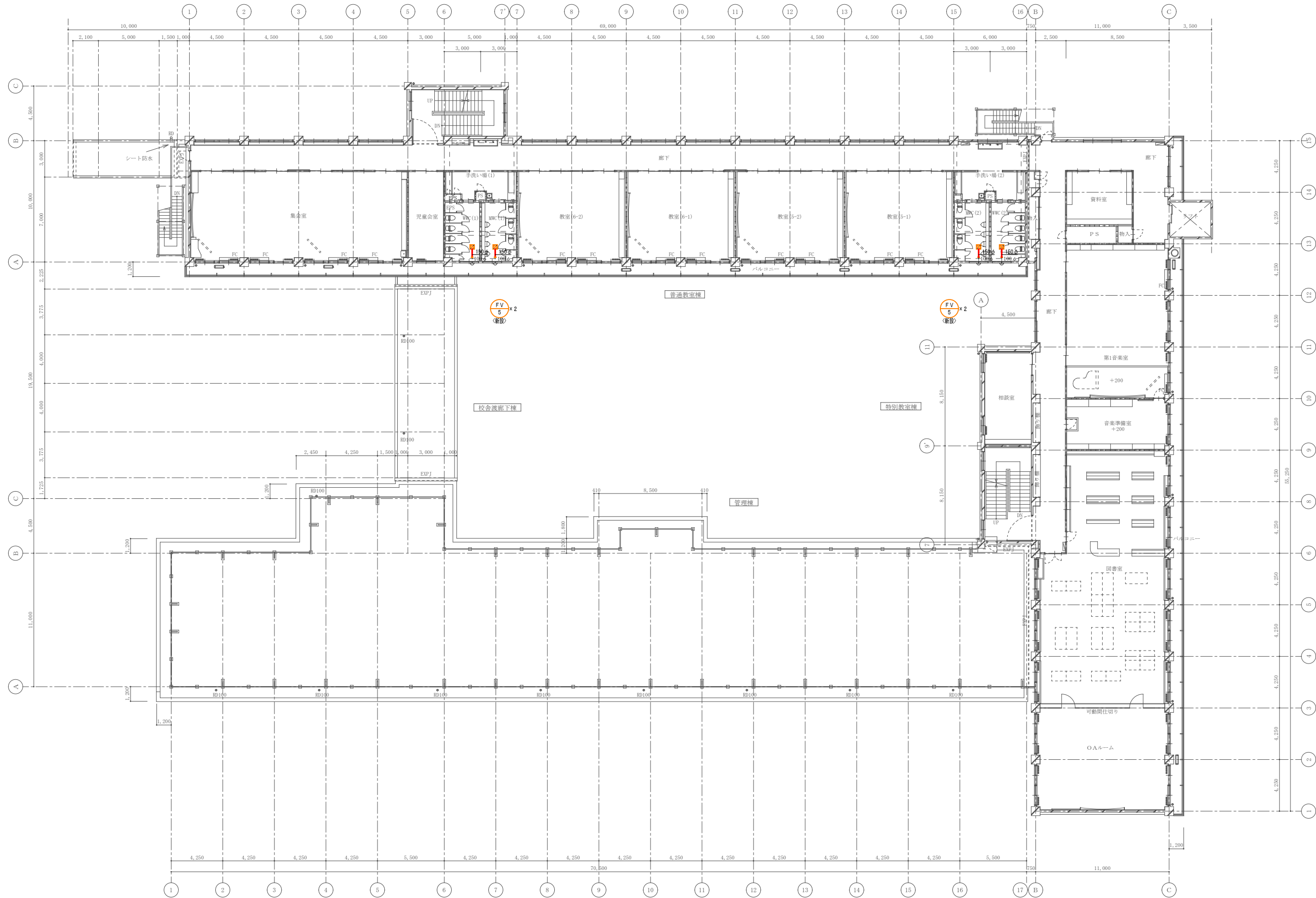
凡例 (改修後)

- 新設配管・機器等
- 既設配管・機器等
- 既設配管・機器等
- 既設配管・機器等



凡例 (改修後)	
——	新設配管・機器等
---	既設配管・機器等
---	既設配管接続部

注記
既設バンドキャップ、排気フード等は既設のままとする。
使用管材・・・スパイラルダクト (新設部分)
硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (既設部分)



注記	
既設バンドキャップ、排気フード等は既設のままとする。	
使用管材・・・スパイラルダクト (新設部分)	
硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (既設部分)	

凡例 (改修後)	
——	新設配管・機器等
- - - -	既設配管・機器等
—— - - - -	既設配管接続部